

第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【国語】

名 目	書	2
	新編 新しい国語	東 書
内 容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の初めに学習のめあてと計画が明確に記され、学習の見通しと目的意識をもって取り組み、児童自らが技能を習得できるようになっている。</li> <li>○単元の終わりに課題解決型学習の流れが表記されており、学習を進める手立てとなっている。これにより、児童が主体的な学習の仕方を学ぶことができるようになっている。</li> <li>○デジタル化（QRコード）を利用し、定着率の低い言語に関する練習問題が設定されており、授業の中や家庭学習で便利に習熟を図ることができるよう配慮されている。</li> </ul>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「読むこと」においては、教材文（説明的文章）の内容が発達段階に適しており、児童の興味関心を引く題材が取り上げられている。他教科との関連を持ちながらSDGsを意識した内容が系統的に配置され、今日的課題について考えを深めることができるよう配慮されている。</li> <li>○「書くこと」においては、読み比べられるよう2種類の資料を提示することで、表現の違いに気づかせ、書き表す力を段階的に伸ばす工夫がなされている。</li> <li>○各単元において「ノート作り方」が紹介されており、適切なメモの取り方や効果的な表記の仕方が身につくよう示されている。また、タブレットを使用した「デジタルノート作り方」も紹介されている。</li> </ul>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な人の生き方、他者への思いやりや生きることの大切さに触れる教材が設定されており、豊かな人間性を育むと共にキャリア教育につながるよう配慮されている。</li> <li>○自分の考えを言葉にし、相手に伝わるよう表現していく機会が設定され、コミュニケーション力の向上につながるよう工夫されている。</li> </ul>	
	<p>〈言語感覚を養うための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文学的文章については、現在の児童の感覚に近い言葉と日本語の美しい表現に触れることができ、言葉の魅力を感じることができる教材が配置されている。</li> <li>○各単元末に「言葉の力」が設定され、言葉の意味・使い方を理解しながら、使える語彙を増やすための工夫がされている。</li> </ul>	
	<p>〈読書に親しむ態度を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル化（QRコード）による音読の見本があり、識字や音読が苦手な児童も音声で聞きながら読むことができるよう配慮されている。</li> <li>○デジタル化（QRコード）を利用して5、6年生の読みもの教材が提供されており、QRコードを読み込むことで読書が可能である。今後のデジタルブックへの移行、教科書ページ数の削減につながる工夫がなされている。</li> <li>○年間を通して580冊の本が紹介され、単元終わりに設定されている「言葉の力」の学習を深める本も示され、読書を楽しみながら語彙を豊かにすることができるよう工夫されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル化（QRコード）を利用して作者の紹介動画や説明的文章の写真・動画など多くの資料が提供されており、児童の興味関心を高めると共に、作品に関する知識を得たり文章読解を深めたりすることができるよう配慮されている。また、学習の系統性（既習事項）の確認もでき、学びの連続性が意識できるよう工夫されている。</li> <li>○QRコード数は43と多く、既習内容を生かして発展的に学べるよう工夫されている。</li> <li>○挿絵は現代風なイラストで、児童が親しみやすく色や輪郭がはっきりしているものが多い。</li> <li>○写真が大きく、教材文と関わる部分を焦点化したものが掲載されている。</li> <li>○3～6年生は巻末にローマ字表をつけており、ICT機器を使用する際のローマ字入力が進捗できるよう工夫されている。</li> </ul>	
表 記・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○書体や文字の大きさ、行間の幅等、UDを意識し全ての児童に見やすいものとなっている。</li> <li>○1～4年生は上下巻、5、6年生は年間1冊となっており、高学年は他教科や学校行事との関連により指導計画の変更が可能である。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル化を意識した新しい時代の教科書である。</li> <li>○自己の主張や状況説明のために必要な資料の使い方やプレゼンテーションの仕方等について、段階的に扱われており、情報化社会への適応を促すよう配慮されている。</li> <li>○単元の目標・学習の進め方が明確に示されており、児童が見通しをもって学習を進めていくことができるようになっている。</li> <li>○説明的文章や作文教材は今日的な課題に対応したものが多く、児童の興味関心が継続できるよう配慮されており、他教科への発展性も十分に考慮されている。</li> </ul>	

第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【国語】

書名 項目	ひろがる言葉 小学国語	17 教 出
内容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>                      ○ 単元ごとに教材の重点指導事項が説明されており、今後の学習でも役立てることができるよう工夫されている。また、汎用的な知識が巻末に一覧で示されており、実際の使用場面と行き来しながら、はたらかや効果を確認することができるような構成になっている。                      ○ 「学習のてびき」には、学習指導要領で示された学習過程に対応した4ステップの学習内容が示されており、児童自身がどの段階の学習をしているのかを把握し、見通しをもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>                      ○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、日常生活に即した多様な言語活動が扱われており、児童が必要感をもって主体的に学ぶことができるよう工夫されている。                      ○ 「読むこと」では、「学習の手引き」に考えるポイントが分かりやすく示されており、教材を通して何を学ぶのが明確になっている。また、学習のまとめとして書く活動が設定されており、感想や意見を書き、伝え合う活動を通して、児童が主体的に読みを深め、考えを練り上げることができるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>                      ○ 日常生活や学校生活に関連した題材が設定され、実生活に結びついた活動になるよう構成されている。また目的意識や必要性を重視した教材が設定され、学習意欲が高まるよう工夫されている。                      ○ 説明文・物語文共に表現豊かで読み応えのある教材が掲載されており、児童が言葉の美しさ・豊かさを感じるとともに、今日的な課題について理解を深め、自らの生き方を考えることができるよう配慮されている。</p> <p><b>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt;</b>                      ○ 「言葉を増やそう」では、教材内で扱われた言葉と関連のある言葉が提示されている。語句集めと文作りの活動を通して、児童が自然に語彙を増やし、実生活で活用できるよう工夫されている。                      ○ 「言葉の広場」では、漢字や言語・文法に関する知識のみならず、日常生活における言葉の使用場面が取り上げられ、言葉の与える印象や、より良い伝え方について学習する時間が設けられている。児童が言葉を自覚的に用いることで、的確に気持ちや情報を伝え、円滑なコミュニケーションをとり、豊かな言葉の使い手となるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;読書に親しむ態度を育成するための工夫&gt;</b>                      ○ 上巻には、学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図る「情報読書」教材が、下巻には、図書の紹介を中心とした交流活動を行う「交流読書」教材が設定されており、どの学年も、年間を通して本にふれる機会が確保され、読書の日常化を促すつくりになっている。                      ○ 図書の紹介は、表紙の写真に加え、作者・筆者と内容のわかる紹介文が充実しており、題名だけではわからない本の魅力が伝わるよう工夫されている。また、教材文の作者・筆者の別作品と、関連する内容の図書の双方が紹介されており、読書の幅が広がるよう配慮されている。</p>	
資料	<p>○ QRコードが各所にあり、デジタル資料を参照できるよう配慮されている。「写真」「動画」「資料」「ワークシート」「リンク」など、コンテンツの種類ごとにマークが設定され、二次元コードの中央に示されており、分かりやすく使いやすいう工夫されている。                      ○ 高学年でも上下巻の分冊が採用されており、巻末付録が豊富である。「文型・話型」や「学習用語」が体系的にまとめられており、他の学習場面でも生かせるよう工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○ 全学年を通して大きなフォント、ゆとりのあるレイアウトとなっており、見やすく読みやすいよう配慮されている。また、領域ごとにテーマカラーが設定され、「何を学ぶのか」を視覚的に捉えることができるよう配慮されている。                      ○ 漢字にルビを振ったり、平仮名表記に統一したりと、違和感のある交ぜ書きをできるだけ避けるよう配慮されている。</p>	
総括	<p>○ 実際の生活場面に生きてはたらく言葉の力を育てることをねらいとし、児童にとって必要感のある言語活動が設定されている。また、語句集めや文作りを通して「語彙」の自然な増加と実生活での定着を図ることができるよう工夫されている。                      ○ 全学年上下巻の二分冊となっており、軽量化し、付録ページの充実が図られている。また、文字が大きく、読みやすいレイアウトになっている。                      ○ 説明的文章・文学的文章共に、表現豊かで言葉の美しさを感じることもできる、読み応えのある文章が掲載されている。</p>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【国語】

書名 項目	国語	38 光村
内容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>                      ○各単元の冒頭に「問いをもとう」が掲げられ、当該単元で追及したい「問い」をもつことで学ぶ意欲を喚起し、その「問い」が単元の主たる学習内容に繋がるよう配慮されている。                      ○すべての学習活動で言葉に着目し、語彙を広げ、語感を磨く工夫がなされている。                      ○情報と情報との関係の捉え方や情報の整理の仕方を具体的に学ぶことで情報活用能力の基礎となる知識と技能が育成できるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>                      ○「話すこと・聞くこと」では、場面に応じて互いの立場や考えを尊重しながら問題解決に向かうことで、コミュニケーション能力や問題解決能力を育成する工夫がなされている。                      ○「書くこと」では、記録・説明・報告・紹介など、児童の発達段階や学習の習熟度、目的性や必然性を考慮した多彩な言語活動が設定されている。身につける力を明確に示し、日常生活や他教科の学習に生かせるよう配慮されている。                      ○「読むこと」では、説明的文章において、学年の段階に応じた論理展開と文章構成が考慮されており、論理的な思考力の深化を図れるよう配慮されている。文学的文章においては、生命の尊さや人間尊重の精神を養う文章を配置が配置されており、自分なりの感想をもち、共有する活動を通して読むことの意義が感じられるよう配慮されている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>                      ○時代を超えて親しまれてきた教材と今日的な課題に関する教材を通して、人と社会の多様性を認め、尊重する態度を育てられるよう配慮されている。                      ○今日的な課題として、SDGsの17項目について各学年に関連教材が配置されていて、興味をもって学べるようになっている。防災教育やキャリア教育に繋がる教材も配置されている。                      ○1年生が「楽しい、知りたい」という思いを抱けるように、豊かな対話が生まれるような教材が配置されている。</p> <p><b>&lt;言語感覚を養うための工夫&gt;</b>                      ○巻末付録の「言葉の宝箱」「伝え合うための言葉」「学習に用いる言葉」では、言葉への理解を深めて、読む活動や書く活動に生かせるよう配慮されている。                      ○2年生以上の「季節の言葉」では、詩や生活様式、食べ物など日常の中にある言葉と出会い、言葉の使われ方や味わい方を実感できるよう配慮されている。</p> <p><b>&lt;読書に親しむ態度を育成するための工夫&gt;</b>                      ○単元の学習と関連させて様々な角度から多様な分野の本が案内文と表紙写真で紹介されている。読書単元では「読みたい」と意欲がもてるような多彩な活動が設定されている。日常的な読書をより豊かなものにしようとする態度を育てる工夫がなされている。                      ○図書館を日常的に利用できるよう、本を見つける方法や調べる方法が写真とともに具体的に示されている。</p>	
資料	<p>○教材内容の理解を助け、イメージを豊かに広げられる絵や写真が掲載されている。また、内容を解説するための写真や図、グラフが多数掲載されている。                      ○絵や写真と文章を対応させながら読む教材が各学年に配置されている。読んで考えたことを話し合う活動が行えるよう配慮されている。                      ○QRコードのコンテンツには、スピーチや話し合い、インタビューなどの実写動画が多数掲載されており、具体的に学べる工夫がなされている。統計資料や朗読音声、写真など、教科を越えて活用できる資料が多く収録されている。</p>	
表記・表現	<p>○1～4年生は荷物の軽量化を図るために上下巻に分かれており、5・6年生は1年間の学習が見渡せるように1冊になっている。6年間の学びの繋がりや小中連携が意識されている。                      ○情報や新出漢字が四角囲みになっていて、見つけやすくなっている。                      ○文節による分かち書きから段階的に通常の書き方に移行する工夫がなされている。                      ○書き文字に近い自社作成の教科書体を使用しており、UDを意識した標記になっている。                      ○優しい色使いの挿絵が多く、活動のイラストは具体的でわかりやすくなっている。</p>	
総括	<p>○各単元に「問いをもとう」が掲げられ、問いをもたせて学ぶ意欲を喚起し、その問いが主たる学習内容に繋がるよう配慮されている。                      ○「読むこと」では学年の段階に応じた論理展開と文章構成が考慮され、論理的な思考力の深化を図れるよう配慮されている。また、今日的課題であるSDGsの17項目について、各学年に関連教材が配置され、興味をもって学べるようになっている。                      ○日常的な読書をより豊かなものにできるよう、多様な分野の本が案内文と共に紹介されている。また、図書館を日常的に利用できるよう利用方法を具体的に示す教材が配置されている。</p>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【書写】

書名 項目	新しい 書写	2
		東 書
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2年以上は、文字を整えて書くための知識や大切な技能のポイントについて「書写のかぎ」でその時間の学習事項を示している。</li> <li>○全学年で基本的な点画の説明を設けている。点画の種類と書き方について、顔のついたマークが穂先の動き方を示したり、2色で濃淡をつけながら示したりしている。</li> <li>○学年に応じて文字を書く姿勢や筆記具の持ち方などの基礎的な内容が確認できるように写真で示したり、1・2年では「しょしゃ体操」が示されたりしている。</li> </ul>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「生かそう」では、課題とは異なる他の文字を硬筆で書くことで、学習したことが定着するよう工夫されている。</li> <li>○課題について考える際の手助けとなるように、キャラクターの吹き出し等が随所に配置されている。</li> </ul>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2年以上で「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返ろう」の学習過程を明確に示し、見通しをもって主体的に学べるように工夫されている。</li> <li>○5・6年では、「六年生におくる言葉」を書くことで感謝の気持ちを表したり、「書写展覧会を開こう」で、思いを書いて伝えたりする機会が設けられている。</li> </ul>	
	<p>&lt;毛筆と硬筆との関連&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毛筆の後に「生かそう」が用意され、学習内容を確認しながら硬筆で教科書に書くようにしている。</li> <li>○水書用筆等については、「いろいろな道具を使って書いてみよう」で取り上げている。</li> </ul>	
	<p>&lt;各教科や日常生活との関わり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「生活に広げよう」や「学びを生かそう」というページでは、はがき、封筒や手紙の書き方など、日常生活や各教科における具体的な活用の仕方が、学年や学習内容に応じて示されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1・2年の巻頭に、鉛筆の持ち方が右利き用と左利き用で示されており、QRコードから動画でも確認できる。巻末には水書用紙が付いている。</li> <li>○QRコードは、アニメーション・シミュレーション・運筆動画の3種類で整理されている。</li> <li>○2～6年の巻頭に「書写の学び方」が示され学習の流れが確認できる。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毛筆教材では、「書写のかぎ」で書く上でのポイントを示し、その後に手本を提示している。</li> <li>○筆順の学習では、一画一画の筆順が分かるように、点画を色分けして示されている。</li> <li>○1年では字のマスをもつ部屋に分け、書き始めの位置を部屋が分かるように示されている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○めあての達成に向けて、「書写のかぎ」で注目すべきポイントの提示と、単元の終わりの「ふりかえろう」の提示で、学習を振り返る工夫がされている。</li> <li>○めあてに対して同じ学習内容の漢字を二つ以上扱うことで、繰り返し練習ができ、めあての達成に向けて粘り強く取り組めるように工夫されている。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【書写】

書名 項目	小学 書写	17 教 出
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;                      ○学習した内容を系統的に繰り返し学べるように、3年以上では「点画の種類」、全学年で「学習のまとめ」が設けられている。                      ○1・2年では運筆のリズムを意識しながらなぞりやすいように、毛筆教材では穂先の通り道が分かるように、運筆の写真や2色で濃淡をつけた資料が示されている。                      ○学年に応じて、文字を書く姿勢や筆記具の持ち方などの基礎的な内容が確認できるように、写真で示されている。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;                      ○自分の課題に向かって、練習用紙を選んで取り組んだり、学習内容を振り返る欄を設けたりしている。                      ○課題について考える際の手助けとなるように、キャラクターの吹き出し等が随所に配置されている。</p> <p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;                      ○3年以上で「考えよう」「生かそう」「ふり返ろう」の学習過程を明確に示し、見通しをもって主体的に学べるように工夫されている。                      ○全学年で「書いて伝え合おう」の単元を設け、「ありがとうカード」や「しょうたいじょう」などを取り上げ、思いを表現する活動を設定している。</p> <p>&lt;毛筆と硬筆との関連&gt;                      ○毛筆の前後に、硬筆で「ためし書き」と「まとめ書き」を教科書に書くようにしている。                      ○水書用筆等については、1・2年で「すいしよようしのつかいかた」や「水ふでのもち方」で取り上げている。</p> <p>&lt;各教科や日常生活との関わり&gt;                      ○「知りたい 文字の世界」では、生活の中の文字等を写真資料とともに紹介し、「レッツトライ」では発表資料や手紙など各教科での活用例が示されている。</p>	
資料	<p>○1・2年の巻頭に、鉛筆の持ち方が右利き用と左利き用で示されており、QRコードから動画でも確認できる。巻末には水書用紙が付いている。                      ○QRコードは、動画・ワークシート・資料の3種類で整理されている。                      ○全学年の巻頭に「はじめの学習」が示され、学習の進め方が確認できる。</p>	
表記・表現	<p>○ふり返ろうでは「よくできた」「できた」「もう少し」で自己評価するようにしている。                      ○全学年で、紙面の下部に、新出漢字を筆順付きで示している。                      ○低学年では字のマスをもつ部屋に分け、書き始めの位置を部屋が分かるように示されている。</p>	
総括	<p>○「めあて」が各単元の始めに明確に示され、「考えよう」でめあてを達成するために必要な着眼点を示し、「ふりかえろう」で確認すべき観点が明示され、学習を振り返る工夫がされている。                      ○「知りたい 文字のせかい」で文字を伝統的な言語文化として触れられるよう工夫されている。</p>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【書写】

書名 項目	書写	38 光 村
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「たいせつ」マークを設けて、基礎的・基本的な技能を身に付けさせるために、点画の書き方のポイントが示されている。</li> <li>○3年の毛筆教材では、顔のついたマークが穂先の動き方を示したり、筆の動きが分かるように2色で濃淡をつけながら示したりしている。</li> <li>○学年に応じて、文字を書く姿勢や筆記具の持ち方などの基礎的な内容が確認できるよう、写真で示されていたり、1～3年では「しょしゃ体操」が示されたりしている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○5・6年では、課題に対する考えと理由について話し合う活動を取り入れている。</li> <li>○キャラクターに動きをつけ、書く時のイメージがもてるように工夫されている。</li> </ul> <p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3年以上で「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の学習過程を示し、見通しをもって主体的に学べるように工夫されている。</li> <li>○5・6年で、礼状を書いたり、今の思いを書き残したりするなどの機会が設けられている。</li> </ul> <p>&lt;毛筆と硬筆との関連&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毛筆で学習したことを硬筆で確かめながら書くように「生かそう」が用意されている。</li> <li>○水書用筆等については、「水ふでで書いてみよう」というページで取り上げている。</li> </ul> <p>&lt;各教科や日常生活との関わり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「書写 広げたい」というページで、手紙や横書きの書き方など、日常生活や各教科における具体的な活用の仕方が、学年や学習内容に応じて示されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1・2年の巻頭に、鉛筆の持ち方が右利き用と左利き用で示されており、QRコードからも動画で確認できる。巻末には水書用紙が付いている。</li> <li>○QRコードは、動画・写真・補充教材・参考資料の4種類で整理されている。</li> <li>○各学年SDGsを意識した教材を取り上げ、4年にはSDGsブックがついている。1・3年には「スタートブック」がついていて、最初の基本が確認できる。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毛筆教材では、はじめに書く上でのポイントを示した後に、手本が提示されている</li> <li>○1・2年では、紙面の下部に、新出漢字を筆順付きで示している。</li> <li>○1年では字のマスをもつ四つの部屋に分け、書き始めの位置を部屋が分かるように示されている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ねらい」を達成するための学習の進め方が簡潔にまとめられており、達成できたかどうかの自己評価をチェック欄で振り返ることができる工夫がされている。</li> <li>○2～6年は学習のポイントを示す「たいせつ」が番号順に示され、巻末のまとめで振り返りができるよう工夫されている。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会】

書名 項目	新しい社会	2
		東書
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容の中で特に習得させたい内容を、「ことば」や太字で表示、太枠で囲んであり、明示している。分量や説明文が精選されている。</li> <li>○「まなび方コーナー」では、資料の見方やまとめ方が示され、単元の終末にある「まとめる」では、重要語句を使って学習内容を整理できる。</li> </ul>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○登場人物の表記の仕方や会話文を通して、本時の社会的な見方や考え方のポイントが分かり、また問いかけや気づきの表記により、調べたり追究したりする内容を焦点化している。</li> <li>○「いかす」では、自分たちにできることなどを考えたり、選択・判断したりすることで、学習したことをいかして社会的な事柄に参画したり、提案・発信したりするページを設定している。</li> </ul>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元が、学習問題を「つかむ」、資料やICT機器等を活用して「調べる」、重要語句を整理して「まとめる」、社会への参画について考えて「いかす」流れになっている。さらに授業の中では「本時のめあて」を明示し、課題意識を持って学習できるようになっている。</li> <li>○導入動画やインタビュー動画、デジタルコンテンツが豊富にあり、学習意欲を高められるようになっている。</li> </ul>	
	<p>〈学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「いかす」では、学習内容に対して参画・提案することができるように、自分たちにできることを考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりできるようになっている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事例地は、偏りなく全国の各地方を取り上げ、学校の地域や実態に対応した配慮がなされている。</li> <li>○ワイド版の紙面や折込ページ、QRコンテンツにある多様なワークシートや動画資料等により、授業の流れの中で視聴したり、調べ学習の資料として活用したりできる。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3・4年生は1冊、5・6年生は上下巻に分かれている。</li> <li>○学習問題に対する気づきや疑問を登場人物の台詞を通して詳しく表している。</li> <li>○学習内容の基礎・基本となるキーワードを「ことば」として提示しているほか、見開きページ内で注目させたい箇所を枠組みにしたり太文字にしたりしている。</li> <li>○写真や図表に整理番号を付し、指導中に児童が注目しやすくしている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決的な学習の流れ（つかむ、調べる、まとめる、いかす）で、社会的な見方・考え方を働かせながら学習ができる構成になっている。</li> <li>○「まなびのポイント」や多様な資料、QRコンテンツにより、主体的・対話的な学びにつながる工夫をしている。</li> <li>○防災・安全教育やSDGsなど、今日的な課題について学習したことを生かして社会的な事柄に参画したり提案・発信したりする場面を設けている。</li> </ul>	

第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会】

書名 項目	小学社会	17 教 出
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「キーワード」として重要な用語や内容が明示され、社会科の重要語句が定着できるように工夫されている。</li> <li>○「調べる」「まとめる」では、学び方を学ぶ「学びのてびき」を学習場面に応じて提示している。調べ方や多様なまとめ方について、手順やポイントが示され、調査、資料の読み取り、表現活動等が身に付けられるよう工夫されている。</li> </ul>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年冒頭と各ページで「空間・時間・関係」等の「社会的な見方・考え方」が言葉で例示され、社会的事象について多角的に考察できるよう工夫されている。</li> <li>○「つなげる」では、社会に見られる課題を把握して、社会への関わり方を「選択・判断」「構想」する力を養う活動（話し合い、提案、紹介、標語等）が明示され、参画を促している。</li> </ul>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○つかむ、調べる、まとめる、つなげるという学習過程が明示され、問題解決を意識し見通しをもって主体的に学習を進められるよう工夫されている。</li> <li>○「自分で調べて考える」が新設され、多様な資料から個別に資料選択し、読み取り、考えを共有する活動が設定されている。</li> </ul>	
	<p>〈学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単位時間ごとの問いに加え、「次につなげよう」で次時への問いが示され、問いがつながり、一貫した追及を進められるように構成されている。</li> </ul>	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事例地は、偏りなく全国の各地方を取り上げ、学校の地域や実態に対応した配慮がなされている。</li> <li>○QRコンテンツ資料が5種類と豊富で、児童が興味・関心をもてるように工夫されている。</li> </ul>
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年それぞれ1冊にまとめられている。</li> <li>○キャラクターの台詞を通し、社会的事象の見方・考え方を働かせた学びが促されている。</li> <li>○学習の基本となる語句が、「キーワード」で取り上げられている。</li> <li>○資料にカタカナの記号がつけられ、注目させたい資料を簡潔に指示することができる。資料の凡例は、記号やユニバーサルデザインカラーを用いて個人差に配慮している。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○つかむ、調べる、まとめる、つなげるという問題解決的な学習の4段階と社会的な見方・考え方が示され、見通しをもち振り返りながら学習できる構成となっている。</li> <li>○ICT端末の使い方が例示され、動画やグラフ、ワークシート等様々なコンテンツを通して、主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。</li> <li>○SDGsのページが設けられ、学習をSDGsの視点から振り返り、これからの社会のあり方について主体的に考えることができるよう工夫されている。</li> </ul>	



第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会】

書名 項目	小学社会	116
		日 文
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的にテキスト量が多く、しっかり読み込むことで正しい知識技能が身につく。「キーワード」のコーナーを設けており簡潔に重要語句の解説もしている。</li> <li>○見学や観察などの仕方や、資料の読み取りをサポートする「学び方・調べ方コーナー」を設定し、知識及び技能を確実に習得できるような工夫されている。</li> </ul>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「見方考え方コーナー」では、社会的な見方・考え方ははぐくむために、「空間の視点・時間の視点・関係の視点」の3つの視点で、社会的事象について考えられるように、分りやすく示されている。</li> <li>○問題をほりさげるページが設定され、よりよい未来をつくるために「自分だったら」という視点で考える工夫がされている。</li> </ul>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追及・解決する力を身につけよう」という学習過程が各ページ左下のインデックスで明示され、主体的に問題解決ができるよう工夫されている。</li> <li>○SDG s について全学年取り扱っており、それぞれの学習内容と関連づけながら「考えよう！SDG s コーナー」をそれぞれのページに設けている。</li> </ul>	
	<p>〈学習の問題を追及・解決する活動の充実を図るための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が互いの意見を聞き合い、学びを深めるために「深め合いの進め方」というコーナーを設け、漫画形式で活動のポイントを例示している。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事例地は、学校の地域や事態に対応した配慮がなされている。</li> <li>○QRコードの資料が充実しており、アプリケーション、動画、ワークシート、外部リンクなど8種類のコンテンツをデジタル資料として扱っている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年それぞれ1冊にまとめられている。</li> <li>○各ページのキャラクターのセリフに、「!」「?」が付いており、学習課題に対しての「気づき」と「疑問」を会話形式で投げかけている。</li> <li>○本文に出てくる重要な社会科用語を、キーワードとして枠囲みで解説し、その他に説明が必要な語句を検索マークとともにピックアップしている。</li> <li>○資料の読み取りや、本文と資料を関連させた読み取りがしやすいよう、中心資料を大きく配置するなど、紙面のレイアウトが工夫されている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「主体的・対話的で深い学び」を実現させるための工夫、問題解決的な社会科の学習を行うための構成の工夫がなされている。</li> <li>○学習問題に加えて、さらに考えたい問題を提示し、主体的・対話的で深い学びを通した深め合い活動を促すための話し合いについて、詳しく例示している。</li> <li>○単元終わりのSDG s の特設ページの充実や、巻末の付録のSDG s のシールなど、児童がSDG s を自分事として考えるための工夫が充実している。</li> </ul>	

## 第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【地図】

書名 項目	新しい地図帳	2
		東 書
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○「地図のきまり」「地図帳の使い方」の構成で、方位・地図記号・土地利用・凡例・索引・縮尺・距離などが丁寧に説明されており、基本的な地図の読み方や地図帳の使い方を学ぶことができる。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○各学年の社会科の学習で地図帳を活用することで、社会的な見方・考え方ははぐくむことができる工夫がある。自然災害、伝統文化、地形の広がりや土地利用、歴史などの内容を関連して読み取ることができる。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○「ホップ・ステップ・マップでジャンプ」の問題が70問設定されており、地図帳から探す・見つける「作業」の問題と、地図帳から考える「問い」の問題という2つの側面を軸に、地図から発展し、考える力を向上させることができる。</p>	
	<p>&lt;地図・資料の特徴&gt;</p> <p>○基本図は、世界をイメージできる世界地図、日本を大観できる地図、くわしく都道府県を掲載している地図に分類され、主要道路や路線など細かく地図が作成されている。</p>	
資料	<p>○キャラクターたちが地図を作るというストーリーを通して、地図のきまりや作られ方が自然と身につく工夫がされている。</p> <p>○索引は、地名の左に市町村・世界遺産・名所、史跡など地名の種類を表す記号が示され、県庁所在地は赤文字で書かれている。統計も上位5位までは赤文字になっている。</p> <p>○QRコードにアクセスすると、47都道府県クイズ、アニメーションによる解説、動画やドローン映像など、デジタル端末に対応した多くのコンテンツを活用できる。ドローン映像はすべて教科書「新しい社会」の資料に対応している。</p>	
表記・表現	<p>○児童の気づきや追究を促すために、ホップ・ステップ・マップでジャンプや、登場人物が「～してみよう」と問いかけることで、児童が地図を利用して調査活動に取り組むように促している。</p> <p>○ユニバーサルデザインに基づく、凡例の色彩や字形・字の色や配置に配慮が見られる。土地の高さは、陰影をなくした明るい色合いで表現されている。</p> <p>○日本の地域地図では、その地図がより広い範囲から見たどの辺りなのかも示されている。</p>	
総括	<p>○巻頭で地図のきまり、地図帳の使い方について8ページにわたり漫画仕立てで解説され、導入期の3年生など、個に応じた配慮がされている。自然や産業、日本の歴史や伝統など、教科書に関連した内容も学べるようになっている。</p> <p>○食文化や輸入・輸出、歴史などを世界との関わりの中で考えられるページが設定されている。</p>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告  
 種目（教科等）【地図】

書名 項目	楽しく学ぶ 小学生の地図帳	46 帝国
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○「地図のやくそく」「地図帳の使い方」で、地図の概念、方位や地図記号、さくいんの使い方等を、スモールステップで解説し、基本的な地図の読み方や地図帳の使い方を学ぶことができる。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○各学年の社会科の学習で地図帳を活用することで、社会的な見方・考え方をはぐくむことができる工夫がある。防災・減災、伝統文化、地形の広がりや土地利用、歴史などの内容を関連して読み取ることができる。</p> <p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○「地図マスターへの道」は難易度がレベル分けされ、スモールステップで学ぶことができ、これまでの取り組みを記録しながら地図活用能力や知識を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>&lt;地図・資料の特徴&gt;</p> <p>○地図や資料のテーマごとに記載内容を精選し、「広く見わたす地図」「都道府県を見る地図」、観光や自動車産業などのテーマを設けた「くわしく見る地図」、各国の自然や文化などの特徴を表した「世界の地図」、SDGsの視点や防災・減災などの理解を深める資料図に分類されて掲載されている。</p>	
資料	<p>○地図の約束や使い方などを、見開き2ページでスモールステップで学習できるように工夫されている。</p> <p>○索引は、都道府県や国名を赤、歴史地名は青と、種類ごとに色分けし、日本の各地名には地名の種類ごとに記号で示されている。</p> <p>○QRコンテンツとして、地図クイズ、動画による解説、都道府県ごとにデジタル地図として地形や土地利用、交通、農林水産物、工業、伝統文化などを見ることができる。</p>	
表記・表現	<p>○「地図マスターへの道」により地図活用の技能を高めたり、登場人物の吹き出しにより地図の着眼点を示したりしている。</p> <p>○地形の様子を捉えやすくするために、土地の高さによる色分けと手描き風の山の表現を組み合わせ、立体感のある地図表現にしている。</p> <p>○日本及び世界の地域地図では、その地図がより広い範囲から見たどの辺りなのかも示されている。</p>	
総括	<p>○児童の発達の段階に応じた地図や資料の配列になっており、巻頭で地図活用の技能が身に付くように、14ページにわたり解説され、歴史の学習や他教科で活用できる資料図が掲載され、4年間にわたり地図帳を活用できるようになっている。</p> <p>○持続可能な社会の実現、防災や減災などのテーマによる資料図を掲載し、今日的な課題について学習するページが設定されている。</p>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【算数】

書名 項目	新編 新しい算数	
	2	東 書
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2年生以上では、単元末の「学習のしあげ」がQRコンテンツ化されており正誤判定と結果の記録機能、答えのヒントや解説機能が搭載されており理解や定着をサポートすることができる。</li> <li>○巻末には「ふりかえりコーナー」として全学年までの既習内容が確認できるようになっている。</li> <li>○単元途中の練習問題に「ほじゅうのもんだい」の具体的な番号が示され、単元末の「学習のしあげ」では、学習したページを示して個々の習熟度に応じて強化したり確認に戻ったりする手がかりが示され、主体的に学習を進めて知識、技能が確実に習得できるよう工夫されている。</li> </ul>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○2年生から「今日の深い学び」のコーナーが設けられており、自分の考えとの比較やまとめの後に新たな課題を追究していく展開になっている。またノートを考えの整理の場として活用できるようノートの工夫を取り上げている。</li> <li>○考えを示しすぎないようなシンプルな吹き出しや補助発問になっている。児童が自分の言葉で説明できるように配慮されている。</li> <li>○数学的な見方・考え方を働かせながら、「同じように考えると」どうなるか「それなら次は？」どうなるか主体的に思考する場面をつくり、学びをつなぐ構成になっている。</li> </ul>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○4年生から、算数の学習を活用してデータを読解してSDGs関連や身近な教育課題について考えるページを設けている。</li> <li>○4年生以上の学年では巻頭コラム「私と算数」で、世界レベルで活躍する方々の算数との関わりが紹介されている。また、3年生以上の表紙には、算数の内容が散りばめられた作品が掲載され、裏表紙には、作者と算数との関わりについて作者からのメッセージが紹介されている。算数の身近さや有用性を味わい、学習への意欲を高めることが期待できる。</li> </ul>	
	<p>〈数学的活動を充実させるための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○4年生からプログラミングの掲載があり、QRコンテンツの活用で実際にプログラミングの体験ができる。</li> <li>○1年生の初めの3単元は、別冊A4判中綴じとなっており直接書き込んだり、算数ブロックを置いたりしやすい仕様になっている。</li> <li>○単元末に「つないでいこう算数の目」コーナーを設け、単元で大切にしたい数学的な見方・考え方を振り返ることができるよう工夫されている。</li> </ul>	
	<p>○随所にあるQRコードを読み取ると、単元導入のオープニングムービー・意味理解を促進させるための動画やアニメーション・表やグラフの作成・ARを使った量感の育成を図るコンテンツ・図の操作・追加の練習問題・発展問題等、豊富なコンテンツが用意されている。</p>	
資料	<p>○随所にあるQRコードを読み取ると、単元導入のオープニングムービー・意味理解を促進させるための動画やアニメーション・表やグラフの作成・ARを使った量感の育成を図るコンテンツ・図の操作・追加の練習問題・発展問題等、豊富なコンテンツが用意されている。</p>	
表記・表現	<p>○重要用語は太文字使用に加え、マーカーが引かれており強調されている。</p> <p>○カラーバリエーションに配慮されており、図やグラフは色の区別だけでなく形や模様でも区別できるようになっている。</p>	
総括	<p>○ICTの活用に関心をもち、学習意欲を高めたり理解を深めたりするために、単元の導入、問題の解決、理解の状況把握、つまづきへの対策などに活用できるQRコンテンツがたいへん多く用意されている。</p> <p>○単元前半は、吹き出しや補助発問などが丁寧に記載されているが、単元中盤から後半にかけては吹き出しや補助発問を段階的に減らす工夫がある。単元前半では、資質・能力を確実に育み、後半ではそれまで育んだ力で問題解決をする機会を創出することができるようになっている。</p>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告  
 種目（教科等）【算数】

項目	書名	4
	新版 たのしい算数	
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元末及び単元間での問題演習では、関連のあるページが明示されており、分からない時の復習や補充の問題につながられている。</li> <li>○QRコードから、Web上で問題に取り組んだり動画を閲覧したりできるようになっており、家庭でも学習しやすくなっている。</li> </ul>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「算数たまたまばこ」のコーナーでは、学習の補足や内容をいかした活動などを紹介し、学習したことを深める工夫がされている。</li> <li>○めあて・発見（まとめ）がシンプルにまとめられ、子どもたち自身で思考できるようになっている。</li> </ul>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元導入の問題提起の場面では、具体的な場面の絵や図が表示されており、問題に取り組もうという気持ちにさせる構成となっている。</li> <li>○1～3年生に「おうちで算数の充実」があり、学びに向かう工夫がされている。</li> </ul>	
	<p>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元のはじめでは、実物を操作して調べたり、ゲーム的活動から問題を提示したりして、数学的な事象を体験する機会を増やしている。</li> <li>○各学年巻頭の「算数の学び方」で学んでいく姿勢が詳しく書かれている。また、ノートを使い方の実例や、ひらめきアイテム集を活用することで数学的活動を充実させることが可能になっている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4年生以降では毎回数直線図のかき方を掲載し、課題解決に活用できるようにしている。</li> <li>○3～6年生では、「なるほど算数教室」があり、実生活に関係のある算数のおもしろい話を掲載している。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的に文字が大きく、新出の用語は太く、強調されている。</li> <li>○新出の用語や公式と、新しい考え方とで囲い枠の色を変えている。</li> <li>○吹き出しで詳しく説明されている部分が多い。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全学年1冊でまとめられており、つながりを意識しやすくなっている。</li> <li>○QRコードを読み取れるページが多く設定されており、学校での学習充実はもちろん、家庭学習への取り組みにもつながっていくことが重視されている。</li> <li>○プログラミングに挑戦が全学年に設けられており、2年生以降では、「アンプラグドプログラミング」と「ビジュアルプログラミング」の2つの教材が掲載されている。</li> </ul>	

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【算数】

書名 項目	みんなと学ぶ 小学校 算数	11 学 図
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻末にある「ほじゅうの問題」「ふかめよう」に加え、QRコードを読み取ると、練習問題に取り組むことができる。また習熟度に応じた学習ができるようになっており、基礎基本の定着を図る工夫がされている。</li> <li>○2年生から児童がつまずきやすい内容について「算数パトロール隊」のページが設けられ、誤答や注意点を具体的に示しており、基礎・基本を身に着けられるようにしている。</li> <li>○理解の難しい内容の一つである「倍」の概念に関して、3年生以上では通常の単元とは別に特別単元として位置づけ、整数・小数・分数のかけ算、わり算の後に重点的に学習できるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1年生から思考の視点別に9種類の「考え方モンスター」が登場し、思考の進め方が例示されている。単元末にも「考え方モンスター」を使った振り返りができるように設定されている。6年生別冊では、6年間の学習を「考え方モンスター」ごとにまとめることで振り返ることができるようになっている。</li> <li>○「ことば」のコーナーでは説明する際の話型が示されていたり、算数用語の説明がイラスト付きで示されていたりする。</li> </ul> <p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1年生からSDGsの視点から算数を使って、社会のため、世界のためにどんなことができるかを考えるページが設けられている。</li> <li>○導入の場面は、イラスト形式の読み物となっており、児童が身近な話題として学習に向かっていけるよう工夫されている。</li> <li>○本文の様々なところで対話の場面のイラストがあり、実際の授業でも話し合いながら学んでいく姿勢を育む工夫がある。</li> </ul> <p>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3年生以降では、図や表の使い方やかき方を学ぶことができるページを設定しており、それらの意味に立ち返ることができるようになっている。</li> <li>○1年生から毎学年末に系統的にプログラミングを扱っている。QRコードを読み取って実際に試したり、切り取って使える付録を使用して体験できるようになっており、プログラミング的思考が身につくよう工夫されている。</li> <li>○教科書の版型がAB版であり、紙面が広く教科書上での作業する際も広く使える。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各所にあるQRコードを読み取ると、QRコード教材が使用でき、動画で確認したり教材を操作できるようになっている。</li> <li>○「考え方モンスター」の一覧が折込形式で掲載され、教科書を開きながらモンスターを見ることができ、場面に応じた見方・考え方が見つけられるよう工夫がある。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出の用語、問題、めあて、まとめは太字で示され強調されている。</li> <li>○ユニバーサルデザインの観点から、ユニバーサルデザインフォントが採用されている。グラフや図などは、色だけでなく、模様でも区別したりコントラストを変えることで判別できるよう配慮されている。</li> <li>○算数用語の説明がイラスト付きで示されており、児童がイメージしやすいよう工夫されている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元末の「考え方モンスターでふりかえろう」ではその単元で見つけた典型的な「考え方モンスター」をどこで見つけたか振り返ることで単元全体を振り返ることができる。</li> <li>○巻末には「〇年生で見つけた見方・考え方」で「考え方モンスター」ごとにまとめ、「見方・考え方」を総括できるようになっている。随所にモンスターが登場し、モンスターというキャラクター化することで児童が楽しみながら学べる工夫がある。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【算数】

書名 項目	小学算数	17 教出
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元途中のたしかめ問題が充実しており、基礎的な技能が定着できるような工夫がされている。</li> <li>○「学びマップ」で既習事項とのつながりがすぐ確認できることから、復習がしやすくなっており、基礎基本の定着につながる工夫がされている。</li> </ul>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○テープ図から数直線が活用できるような、丁寧な流れになっている。特に、比例関係が使われる場面では数直線の活用が多くかかっている。</li> <li>○単元末の「4コマ漫画」で学んだことのよさや見方・考え方を楽しく振り返られるようになっており、考え方を定着させる工夫が見られる。</li> </ul>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の中で「?はてな」「!なるほど」「!?だったら」と、思考の流れを示しており、問いの連続が主体的・対話的学びにつながっている。また、巻頭でそれを算数の学習の進め方と位置付けて紹介している。</li> <li>○単元のはじめにある「どんな学習がはじまるかな?」のコーナーでは他社と比べ、問題の提示がシンプルで、児童が何を学習していくのか明確化できる構成となっている。</li> </ul>	
	<p>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元末の問題演習の前には「学んだことを使おう」のコーナーが設けられており、単元の復習だけではなく、日常の事例が紹介されており、数学的活動の充実へつながっている構成となっている。</li> <li>○課題解決の場面では、比較の視点となる問いが示され、話し合いを充実させるための工夫がされている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書の後半に「まなびマップ」があり、これまでの学習内容との系統図や用語の索引が設けられており、意味の振り返りがしやすくなっている。</li> <li>○プログラミング教材の資料が全学年に設けられており、QRコードを読み取ることで実施できる内容が充実している。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カラーユニバーサルデザインやUDフォントが採用され、誰にでも見やすい文字となるような配慮されている。</li> <li>○作図の仕方や用具の使い方などが写真で掲載されており、要点も詳しく表記されている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常と算数を結び付ける話題を積極的に取り上げ、算数の有用性を感じられる構成になっている。</li> <li>○巻末の資料では、系統図や資料の内容を学習した単元が明示されており、系統性を意識した学習ができるようになっている。</li> <li>○デジタルコンテンツの充実が図られており、1人1台端末を効果的に活用することができるように工夫されている。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【算数】

項目	書名 <b>わくわく 算数</b>	61 啓林館
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻末に「学びのサポート」として、新しい学習に関係する既習事項を確かめる「じゅんび」、単元途中で練習量を増やせる「もっと練習」がまとめてあり、知識・技能の定着が図れるように工夫されている。</li> <li>○練習や復習のページを計画的に配置し、単元及び年間を通して、学習したことが身につけられるように工夫している。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に「学習の進め方」を設け、問題解決学習の流れ、板書やノートの例を示して、論理的な思考方法や表現方法が学べるようになっている。</li> <li>○巻末に「学びをつなげよう」として、単元ごとに次の学習に繋がる見方・考え方について、具体的な手順やポイントを詳しくわかりやすくまとめたものが掲載されていて、いつでも参照できるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のおわりに「たしかめよう」「ふりかえろう」「やってみよう」の「学びのまとめ」3ステップが設けられている。「たしかめよう」では、問題を解く力、「ふりかえろう」では、学びをまとめる力、「やってみよう」では、実生活に活かす力が身につくようになっている。</li> </ul> <p>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「学びをいかそう（やってみよう）」では、発展的に考えたり、活用・探究に取り組んだりする児童の姿を取り上げ、興味を持って身の回りの算数・数学に気づかせようと工夫している。</li> <li>○「わくわくプログラミング」として全学年でプログラミング単元を系統的に設定し、Scratchとオリジナルコンテンツで学習ができるように工夫されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年生には厚紙のてんびん、4年生にはプラスチックの分度器が巻末につき、活動を通して技能を身につけ、進んで学習に向かう工夫がされている。</li> <li>○写真やイラストにおいて性別・国籍などで役割を固定化しないように工夫されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全学年、文章を文節で改行することで文意を捉えやすいように工夫されている。</li> <li>○図や式、数量に補足の言葉をつけて、理解しやすいように工夫されている。</li> <li>○新しい記号、用語、単位などは太字で書かれ、単位については読み方や書き順が示された上で、練習スペースが設けられている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○QRコードでコンテンツをいつでも活用でき、教師が授業で使える資料としてだけでなく、児童も家庭で主体的に繰り返し学ぶことができる。</li> <li>○全学年でプログラミング単元を系統的に設定し、思考力、表現力を育成するための工夫がされている。</li> <li>○既習事項を確認して新しい学習へと向かうスパイラルの構成で学びやすくし、「練習」や「復習」のコーナーを設け、確かな理解の定着が図れるように構成されている。</li> </ul>	



第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【算数】

書名 項目	小学算数	116 日 文
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻末の「算数マイトライ」は、基礎的な問題・応用的発展的な問題・複数の単元を横断した探究的な問題の3段階あり、児童の実態に応じて取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>○単元前に「次の学習のために」というレディネステストのページが設けられており、既習事項を押さえることで新しい学習にスムーズに入ることができる構成になっている。</li> </ul>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「算数マイノートをつくろう」では、児童が日頃使っているノートをそのまま見本として掲載し、思考過程の記録や表現の仕方の手本が示されている。ノートに書く項目と着眼点が学習過程に対応して分かりやすくまとめられている。</li> <li>○「めあて」の近くには見通しを立てたり、筋道立てて考えたりするための着眼点を「見方・考え方」として配置することで、数学的な見方・考え方を働かせるための工夫されている。</li> </ul>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の導入では、児童の興味や好奇心に働きかけるような操作活動、既習事項の振り返り、身の回りの観察などが取り扱われており、児童の学習意欲が高まる工夫されている。</li> <li>○全学年で掲載されている「自分でみんなで」では、問題解決の過程で自分の考えを表現したり、他者と協働して取り組んだりする場面を提示し、児童による主体的な算数の学びを実現できるよう工夫されている。</li> </ul>	
	<p>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1年生から毎学年末に系統的にプログラミング学習「レッツプログラミング」が設けられている。5、6年では、プログラミング言語「Scratch」を使って実際にプログラムを考えられるようになっている。</li> <li>○「使ってみよう」では、学習したことを生活の場面にかし、算数の楽しさや意義を実感できるような算数的活動が示されている。豊富な写真や手順の説明などにより、数学的活動が具体的にイメージできるよう工夫されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書に登場する子供の名前が「さん」付けで表記されている。また、性別による服装や役割の固定化がないよう配慮されている。</li> <li>○巻末に「学び方ガイド」が用意され、「学び方の4ステップ」を、どの学習場面でも確認できるようになっている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ユニバーサルデザインフォントを採用している。カラーユニバーサルデザインに配慮されており、文字には色文字を使用していない。図ではコントラストをつけることで、区別している。</li> <li>○定義とまとめは、それぞれの区別ができるように分かりやすいデザインの囲みで示されている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の興味・関心などに応じた学習活動や学習課題に取り組む「個別最適な学び」と児童同士で探究的な学習を行う「協働的な学び」とが一体的に実現する場面が多く設定されている。</li> <li>○「自分でみんなで」「算数ノートをつくろう」「学び方ガイド」「さあ、算数の学習をはじめよう」などの掲載で、自分で考えみんなで学び合うという流れで学習していく構成が充実しており、主体的、対話的な学びを後押ししている。</li> </ul>	

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【理科】

書名 項目	新編 新しい理科	2 東 書
内容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実験・観察のページでは、やり方がQRコードで掲載されていて動画で確認することができる。</li> <li>○単元末の「ふりかえろう」「たしかめよう」では、全国学力テストの正答率をもとに単元で得た知識の復習ができるように工夫されている。</li> </ul>	
	<p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○予想や考察の場面では「のぼそう！理科の力」という内容で見方・考え方のヒントが示されている。</li> </ul>	
	<p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の巻頭ページには大きくダイナミックな写真が使われている。また、巻頭のQRコードからは、子供たちの生活体験と関連する動画を視聴することができる。</li> <li>○単元の導入で「レッツトライ」を設け、自然現象との触れ合いを充実し、疑問を引き出すことで児童主体の授業を進められるようになっている。</li> </ul>	
	<p><b>&lt;見通しをもって観察、実験を行うための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各ページの左側に「学びのライン」があり問題～結果までが1本のラインでつながっており学習の流れに見通しがもてる内容となっている。</li> <li>○キャラクターの台詞が理科の見方考え方をどのように働かせるかを示している。</li> </ul>	
	<p><b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活における科学的な事象を「こんなところにも！理科の世界」というコーナーで紹介し、学習内容と関連づけている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○QRコードから関連する写真や動画が豊富に用意されている。</li> <li>○単元の内容と関連する職業の方へのインタビューのコラムが掲載されている。</li> <li>○SDGs やプログラミング教育の特集ページがある。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ユニバーサルデザインフォントが使われている。</li> <li>○「まとめ」にはすべて漢字に振り仮名がついている。</li> <li>○キャラクターの表示は固定的なイメージや偏りがないように配慮された内容となっている。</li> <li>○一段組みを採用し、問題解決のステップごとの区切りをはっきりさせ、自然な目線の流れで読み進むことができるようにしている。</li> <li>○安全に対する配慮が必要な場面では、「きけんマーク」をつけ、赤字で禁止事項・理由を示している。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭の「理科の学び方」では、学習の流れを示し、見通しをもてる内容となっている。</li> <li>○「こんなところにも！理科の世界」では学習内容と関連のある特集を教科書のページと動画で児童の関心を高められるような内容となっている。</li> </ul>	

### 第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【理科】

書名 項目	たのしい理科	4
		大日本
内容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験の方法では、手順を写真や図を使って分かりやすく示している。</li> <li>○単元末の「確かめよう」では、知識及び技能の定着を図る問題がある。</li> <li>○巻末の「使い方を覚えよう」では、器具の使い方を確認できるようまとめてある。下位学年で既習の器具の使い方も掲載している。</li> </ul>	
	<p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年で特に育成したい問題解決の力にマークがついている。キャラクターのせりふや写真などから児童が考えることができるようにしている。</li> <li>○考察では、着目点を「ココに注目」で示し、結果から考察を導き出すことができるような内容になっている。</li> </ul>	
	<p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子供たちにとって身近な事象をもとに学習の導入がされている。</li> <li>○「理科のたまてばこ」「サイエンスワールド」では、学習した内容と生活を関連付けることで学びを実感できるようになっている。</li> </ul>	
	<p><b>&lt;見通しをもって観察、実験を行うための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「理科の学び方」として、問題解決の流れが巻頭に記載されており、学習の流れを理解し、進めていく内容となっている。また、全単元で問題解決の全過程を示している。</li> <li>○既習事項や生活経験をもとに予想をたて、実験計画を考えるようになっており、児童が見通しをもちやすくしている。</li> </ul>	
	<p><b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決の各過程に活動のヒントとなる「コツ」が示されている。</li> <li>○考察の「考えよう」では、話し合いの場面で互いに意見を出し合うなどして、科学的な見方・考え方を意識する内容となっている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻末に、持続可能な開発目標（SDGs）について掲載されている。また、他教科や他学年とのつながりなどの資料が用意されている。</li> <li>○タブレットの活用のヒントとなる場面が紹介されている。また、ページ下部にある二次元コードから、関連するウェブコンテンツにアクセスできる。</li> <li>○学んだことが日常生活で活用されている事例が掲載されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ユニバーサルデザインに配慮された工夫がある。</li> <li>○安全に関する項目では「注意」マークを赤で表記している。</li> <li>○問題解決の過程を、「見つけよう」（緑）、「調べよう」（橙）、「伝えよう」（青）の3色で示している。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「理科の学び方」を巻頭で示し、見通しをもって主体的に学習に取り組めるようにしている。各学年で「特にココ！」を示し、問題解決の過程や各学年で育成を目指す問題解決の力を意識できるようにしている。</li> <li>○ノートの書き方、タブレットや情報通信ネットワークの活用、ウェブコンテンツなど情報活用能力を育てるようにしている。</li> <li>○身近な題材や防災教育など理科の有用性を実感できるような内容となっている。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【理科】

書名 項目	11	
	学 図	
内容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <p>○観察・実験では、実験材料の一覧と、チェック欄がある。実験手順はイラストや写真を持ちながら、順序立てて説明している。</p> <p>○単元末にある「ふりかえろう」で、学習した内容が定着したのか振り返る箇所がある。</p>	
	<p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <p>○問題の設定、予想、考察をする際に、登場人物たちの会話が重要な視点となって学習を進める流れになっている。考察では、思考するポイントが示されている。</p> <p>○学んだことを改めて説明させる「活用」が単元末にある。</p>	
	<p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <p>○毎回の授業の最後に振りかえるための視点が示されている。</p> <p>○まとめの後に、「やってみよう」を取り入れ、学んだことをいかして調べたり作ったりすることができるようにしている。</p>	
	<p><b>&lt;見通しをもって観察、実験を行うための工夫&gt;</b></p> <p>○巻頭の「科学の芽を育てよう」で学習の流れを示している。また、各学年で身につけたい力(理科の見方、考え方)をモンスターで表し、巻頭で説明しているのと同時に、単元のはじめのページにその内容について具体的に示している。</p>	
	<p><b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b></p> <p>○実験結果をまとめるとき、表やグラフにまとめるものはだいたい3地点以上を記録するようになっている。考察の場面では、考える視点が示されている。</p> <p>○児童が問題を科学的に解決できるよう、理科の見方・考え方について、キャラクターの台詞によって明示されている。</p>	
	<p><b>&lt;資料&gt;</b></p> <p>○QRコードがついており、学習理解を助けるイラストや動画等の情報がある。</p> <p>○ICTマークがあり、ICTを活用した記録や共有の事例がまとまってある。</p> <p>○巻末に「理科の世界をふりかえろう」があり、その学年で身につけたい力がついているか振りかえられるようになっている。</p> <p>○調べ方やまとめ方、記録の取り方や実験器具の使い方が載っており、チェックをしながら確認できるようになっている。</p>	
表記・表現	<p>○安全に気をつける「注意」マークが適切に示されている。実験の最後や単元の最後を中心に、学んだことにつながるしりょう「もっとしりたい」が各箇所に示されている。</p> <p>○UDフォントを使用し、改行位置にも配慮している。</p>	
総括	<p>○巻頭の「科学の芽を育てよう」では、各学年で身につけたい理科の見方、考え方を示している。また、問題解決学習の流れを明確に示している。</p> <p>○振り返りを重視し、各学年で身につけたい力がどの程度身についたかふりかえる場を設けている。</p>	

### 第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【理科】

書名 項目	未来をひらく 小学理科	17 教出
内容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>            ○観察・実験の方法のページでは、絵や写真を使って手順が分かりやすく示されている。            ○単元末に「ふり返ろう」「たしかめよう」があり、学んだことの確認ができる。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○考察「結果から考えよう」では、キャラクターの対話を通して自分の結果や考察と比べられる内容となっている。結果によって予想が確かめられたか考えを促すようにカギマークやマーカーをつけている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○単元末の振り返り「学習前の〇〇さん、学習後の〇〇さん」では、自らの学びを振り返り、成長が実感できる内容となっている。            ○「科学のまど」や「広がる科学の世界」で興味を引き出す内容を示している。</p> <p><b>&lt;見通しをもって観察、実験を行うための工夫&gt;</b>            ○巻頭に「学習の進め方」を設けてあり、子どものキャラクターアイコンと共に問題解決の過程をわかりやすく示している。            ○導入では、既習内容や生活体験との関連から単元の見通しをもたせるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b>            ○計画の「見方のカギ」では、問題解決のヒントがキャラクターの対話を通して示されている。</p>	
資料	○単元の関連資料で写真や関係者のインタビューなどが多く示されている。 ○QRコードを読み取ることで関連のあるコンテンツを見ることができる。 ○理科室の使い方や地震、感染症への注意点の紹介がある。	
表記・表現	○ユニバーサルデザインフォントが使われている。 ○言葉の途中で改行せず、文節で改行されていて読みやすく示されている。 ○識別しやすい配色が用いられている配慮がされている。 ○安全に対する配慮が必要な場面には、「注意」や「危険」の表示がある。 ○吹き出しを使って児童が考える視点やヒントを与えている。	
総括	○巻頭の学習の進め方により問題解決の流れが明確である。 ○キャラクターの対話を用いて、見方や考え方のヒントもとに自分の考えが持てるようになっている。 ○まなびリンクコンテンツが多くあり、関連動画やWEB図鑑などが見られる。	

## 第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【理科】

書名 項目	わくわく 理科	61 啓林館
内容	<p><b>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な技能の習得のために、すべての単元において丁寧な記述とわかりやすい動画が掲載されている。器具の使い方を動画で確認できる。</li> <li>○観察・実験では、準備物のチェック欄があり、手順や図が示されている。</li> <li>○単元末には「まとめノート」「たしかめよう」のページがある。QRコードから補充問題、スマート解説を読み取り、個別最適な学びができる。</li> </ul> <p><b>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○考察の場面では、登場するキャラクターたちのつぶやきに「見方考え方マーカ―」が引いてあり、それに注目することで、思考のポイントを支援している。</li> <li>○単元末の「活用しよう」では、知識を応用する力や科学的に説明する力を育む内容になっている。</li> <li>○巻末資料として記録・ノートの取り方・伝え方の参考例が記載されている。</li> </ul> <p><b>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容が、日常生活でどのように活用されているか、「くらしとリンク」を全単元末に掲載している。また、働く人へのインタビューを多数取り上げている。</li> <li>○単元冒頭の「はじめに考えよう」と同じ問いを単元末の「もう一度考えよう」で問い直すことで、自らの学びを実感できるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>＜見通しをもって観察、実験を行うための工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決の流れを「学びのライン」でつなぎ、見通しをもった観察・実験を行う内容となっている。</li> <li>○各単元の導入では、「思い出そう ○年○○」という既習内容の振り返りがあり、児童が課題を見つけやすく記載されている。</li> </ul> <p><b>＜自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫＞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決の過程を「見つける・調べる・まとめる」の3段階の学びのサイクルで示し、学びが積み重なり深まるような構成になっている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○動画資料を再生することができるQRコードがついている。</li> <li>○巻末に「算数との関連」「ものづくり広場」など、学習の際に活用できる内容をまとめた資料がある。</li> <li>○全国学力調査のCBT化に沿った問題コンテンツがある。（WaCBT）</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ユニバーサルデザインフォントを採用、また、発達段階に応じてフォントサイズを調整している。さらに、文節改行で読みやすくなっている。</li> <li>○安全に関する項目では「注意」「やけど」など、文字入りのマークでわかりやすく表記している。</li> <li>○色覚特性を含めた、見やすく、読みやすいデザインとなっている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に場面と目的がわかるICTの活用例が示されている。</li> <li>○問題解決の過程の箇所で、対話的・協同的な活動を充実させている。</li> <li>○質の高い写真が豊富に掲載され、興味をもって、学びに向かうことができる。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【生活】

書名 項目	新編 新しい生活	
	2 東 書	
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○上下巻末に「かつどう べんりてちょう」が掲載され、活動に応じて活用できるようになっている。また、生活上必要な習慣や技能を、学習活動の展開に即して身に付けるための工夫としての資料が「やくそく」に掲載されている。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○児童が思考・判断・表現している姿が、挿絵や吹き出し、作品例などで示されている。また、多様な表現活動や交流活動が例示され、児童が気付いたことを表現し、考えることができるように工夫されている。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○意欲や自信を持って対象と関わる姿が写真やイラストなどで提示されている。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」が実現されている。児童の姿が、「学びをふかめる」というコーナーで具体化されている。</p>	
	<p>&lt;具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫&gt;</p> <p>○「単元扉」には児童の活動写真を掲載し、これまでの経験を想起させたり、活動の見通しがもてるようにしたりして生活科の学びが見えるよう工夫されている。</p> <p>○具体的な作品やワークシートの例示を各単元ごと定位置に掲載し、児童が自分で考え「気付き」を獲得していけるよう工夫されている。</p> <p>○下巻末の「やってみよう 考えよう」と「やってみよう くふうしよう」では、児童が思いや願いを実現していく過程で、友達と対話しながら試行錯誤する様子や伝え合いを通して新たな気づきが生まれる様子など、深い学びのヒントが示されている。</p>	
資料	<p>○学習活動に即して活用する「ずかん」や、習慣や技能、学び方を身に付けるための「かつどうべんりてちょう」、原寸大の動植物図鑑「ほんとうのおおきさいきものずかん」などが豊富に掲載されている。</p> <p>○QRコードでは、動画クイズ、図鑑などをみることができる。</p>	
表記・表現	<p>○児童の活動場面が、ダイナミックで、表現豊かな写真や挿絵で表現されている。</p> <p>○児童の発達に配慮し、上巻のはじめはひらがなのみ、夏休み以降からカタカナが使用されている。下巻では、第2学年までの配当漢字にすべてふりがなを付し、すべての児童が読めるように配慮されている。</p>	
総括	<p>○活動のめあてとその活動で育成すべき資質・能力を示したマークを組み合わせることで、指導と評価の一体化が図れるように工夫されている。</p> <p>○「どきどきわくわく1ねんせい」でスタートカリキュラムを扱い、入学当初の学習を円滑に行えるように工夫されている。</p>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告  
 種目（教科等）【生活】

項目	書名	新版 たのしいせいかつ	4
			大日本
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○具体的な活動や体験を通して、必要な生活習慣や道具の使い方などを身につけられるように構成されている。</li> <li>○各巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では豊富な資料が掲載されていて、生活技能・情報・具体的な活動例が紹介されている。</li> </ul>		
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童自身の言葉が引き出されるように話形が示されている。</li> <li>○活動中や活動後では、話し合う、カードに書くなどの言語活動だけでなく、動作化や劇化などの多様な表現方法が例示されている。</li> <li>○「せいかつことば」のコーナーでは、児童の語彙力向上、表現活動充実のための言葉が示されている。</li> </ul>		
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元と単元のつなぎでは、活動後の振り返りから次の活動へとつながる流れを意識した紙面に工夫されている。</li> <li>○学校で活動したことを家族に伝え、生活科の学びを生活に生かすことができるように配慮してある。</li> </ul>		
	<p>&lt;具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体験活動と表現活動が繰り返される構成になっていて、気付きの質を高める活動の流れになっている。</li> <li>○気づきを共有する場面を設定し、気づきを互いに関連付けたり深めたりできるように配慮している。</li> <li>○キャラクターや教師の投げかけに、気付きの質を高めるためのヒントが示されている。</li> </ul>		
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各巻末に「がくしゅうどうぐばこ」が設けられ、動植物や道具の使い方などが紹介され、児童の活動を支える資料になっている。</li> <li>○上下巻共に表紙・本文内にQRコードが配置され、児童が興味関心に応じて自主的に活用できるように工夫されている。</li> </ul>		
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一つの活動の例示を見開きで構成し、小単元名、本文、吹き出し、写真・イラストがバランス良く配置してあり、低学年の児童にも的確に把握できるよう配慮してある。</li> <li>○イラストのキャラクターは多様性を意識して設定されていて、人種・国籍の区別なく学習に取り組む場面が描かれている。また、性差によって服の色や役割等に偏りがないように配慮してある。</li> </ul>		
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の「〇〇したい」を引き出すため、「子ども主体」「体験重視」で構成され、学習意欲が高まるように工夫されている。「個別最適な学び」「協働的な学び」を支援する内容となっている。</li> <li>○近年のデジタル化や子どもたちの多様化に対応する内容になっている。教科書の名前も変更され、上巻「だいすき」から下巻「ひろがれ」へと発展させ、これまでのコンセプトと変更させている。</li> </ul>		



第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【生活】

書名 項目	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ	11 学 図
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○「生活科学び方図かん」では、活動の基礎となる内容がまとめられており、マークを使って児童に考えさせ、技能の習得が図れるように工夫されている。「ものしりノート」は、学習体験や知識が広がるように構成されている。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○振り返りを重視した構成にしており、単元末では、蓄積した記録を基に、思考の流れを整理したり表現方法を考えたりすることができるように工夫されている。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○単元冒頭では、対話的場面を配置し、子供自身の経験を思い出し活用できるように工夫されていたり、「もっと」「したい」では、活動を通して自信をもった児童がさらに意欲的に取り組めるような活動などが示されている。</p>	
	<p>&lt;具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫&gt;</p> <p>○各見開き左上には、活動の内容を示し、その下の言葉で児童の思いや願いを表すように工夫されている。</p> <p>○表現方法として発見カードや作文、新聞、クイズや劇、紙芝居、ペープサート、ポスターなどの方法が提示されている。表現方法を知り、多様な表現ができるように工夫されている。</p> <p>○子供の学びを豊かにするために、多様な学習活動を掲載している。学習活動がより子供に根付くように、上下巻末の「学び方図かん」には、学習活動の際のポイントがわかりやすく示されている。</p>	
資料	<p>○QRコードでは、動画や動植物の図鑑などを見ることができる。</p> <p>○本文中の「ものしりずかん」では、単元にあった動植物や施設などを、「ものしりノート」では、野菜の育て方やおもちゃの作り方などが紹介されている。</p>	
表記・表現	<p>○本文は見開き単位で構成され、本文の見出しやカードの位置を揃えることで、子供にわかりやすく表現されている。右下に、次の活動を示唆するイラストが配置されている。</p> <p>○UDフォントを使用したり、カラーUDの観点から、目に優しく判別しやすい色使いにしたりするなど、全ての児童がわかりやすいように配慮されている。</p>	
総括	<p>○単元ごとに主となるキャラクターが設定され、対話の中で自分の考えを伝えたり、修正したりしながら、変容していく様子が表現されるように工夫されている。</p> <p>○見開きページをひとつの活動単位とし、願いをもち、主体的・対話的に活動し、伝え合い、振り返る構成となるように工夫されている。</p>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告  
種目（教科等）【生活】

書名 項目	せいかつ	17 教出
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt; ○「きづく」「じぶんでできる」のページには、児童が実際に行っている様子を写真で分かりやすく見せる工夫がされている。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt; ○「かんがえる」「つたえる」のページには、考えを迷路に見立て、自分自身や自分の生活について考えるような工夫がされている。</p> <p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt; ○「ちょうせんする」「じしんをもつ」のページには、児童が進んで取り組んでみたいと思うような写真や言葉があり、意欲がわくような工夫が見られる。</p> <p>&lt;具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫&gt; ○教科書の最後にある「学びのポケット」では、他教科へつなげて気付いたことをもとに考えられるような工夫が見られる。 ○掲載されている写真が大きく、写真にでてくる人、動物、植物が生き生きとしており、児童に直接働きかけるよう工夫されている。 ○めあてが何かははっきりと示されていて、めあてをもって学習に取り組むことができ、児童の力が発揮できるよう工夫されている。</p>	
資料	<p>○「まなびリンク」では、学習に役立つ情報をWebサイトで見ることができ、具体的な活動や体験を促すことができるようになっている。</p> <p>○資料の内容及び取り上げ方は、児童の発達の段階から見て無理がないものとなっている。</p>	
表記・表現	<p>○「まなびリンク」では、動画を見ることができ、児童が親しみ、進んで利用したくなるような工夫がされている。</p> <p>○児童の発達の段階を考慮した表記・表現になっている。</p>	
総括	<p>○知識・技能の基礎、思考力・判断力・表現力等の基礎、学びに向かう力・人間性等がどのページで学習できるか、分類されており、保護者にもわかりやすく説明してある。</p> <p>○「学び方」を「見えるか」することで、学びに向かう力を引き出す工夫がされている。</p>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告  
 種目（教科等）【生活】

項目	書名 せいかつ たんけんたい	38 光村
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元の導入ページでは、児童の身近な対象の写真がダイナミックに配置され、興味関心をもてるような問いかけが位置づけられている。</li> <li>○別冊の「ひろがる せいかつじてん」には、日常生活に必要な習慣や技能についてまとめてあり、必要に応じて持ち歩いたり、自発的に確認したりできるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発達段階や活動内容に合った多様な表現方法が示されている。気づいたことや考えたことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの多様な表現方法も用いて、他者と伝え合う交流活動が随所に設けられている。</li> </ul> <p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毎頁の最初に、「～のためにはどうしたらいいかな。」「～は何だろう。」「～できるかな。」などの児童が学びに向かうための課題と、それを解決するための方策が写真と文字で示されている。</li> </ul> <p>&lt;具体的な活動や体験を通して気づきの質を高めるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が実際に活動や体験をしている様子の写真が多く掲載されていて、活動への意欲付けを図っている。学習環境（教室掲示やICT活用）の写真からは「自分にもできる」「やってみよう」という子どもの意欲が喚起できるようになっている。</li> <li>○「こんなこともあるかもね」のコーナーでは、児童が学習活動の中で経験するであろう、「上手くいかないこと」「人と違うこと」「ドキドキすること」などの様子が等身大で描かれ、児童の新たな気づきに繋がるのがイラストで示されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○上下巻末別冊の「ひろがるせいかつじてん」では防災・安全や生活上必要な習慣、体験活動や表現活動の例が紹介されている。QRコードコンテンツでは安全に関わる情報を動画やアニメーションで見られるようになっている。</li> <li>○表現の方法としてポスター、新聞、パンフレットなどの方法が提示されている。巻末の「ひろがるせいかつじてん」には、気づきのポイントや観察の視点、表現方法が紹介されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元の「導入」は大きな写真により、学習対象との出会いが楽しくなる工夫がされ、「展開」はめあてや学び方のヒントが充実し、「振り返り」は対話の中で振り返ることによって言語化に繋げられるようにし、最後は自分の言葉でまとめ、成長が実感できるようになっている。</li> <li>○ヨシタケシンスケさんの絵と言葉が多く登場し、児童の興味関心を惹きつける。学習対象と出会って心がわきたつ様子や、自分の個性を大切にしながら学んでいく子どもたちの様子が描かれている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小単元は活動が一覧できるように、見開き完結構成になっている。学習展開がひと目で分かるため、どの教室でも生活科らしい学びの深まりが実現できる。</li> <li>○ヨシタケシンスケさんのコーナーは、「失敗しても大丈夫」「人と違っていいんだよ」「自分が感じたことや思ったことが大事なんだよ」というメッセージが溢れている。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告  
 種目（教科等）【生活】

書名 項目	せいかつ	61 啓林館
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;            ○スタートカリキュラムとして、生活に必要な習慣が写真や図で確認できるよう工夫されている。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;            ○「ひろがるきもち」のページを作成し、児童が自分自身の生活について考え、表現することができるような工夫がされている。</p> <p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;            ○「がくしゅうずかん」では、児童が実際に活動したり、生活したりする中で必要な方法が具体的に示されている。</p> <p>&lt;具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫&gt;            ○「びっくりずかん」では、季節の植物や昆虫をカラー写真で大きく掲載し、見たい、聞きたい、触れたい等児童が思うよう工夫されている。            ○「できるかなできたかな」と気付いたことや楽しかったことについて、確認できるページがあり、児童が考えることができるように工夫されている。</p>	
資料	<p>○「がくしゅうずかん」では、生き物の育て方、おもちゃの作り方等児童にわかりやすく掲示されている。</p> <p>○「デジタルたんけんブック」では、学習に役立つ資料を見ることができる。学校ではタブレットを活用して視聴することは勿論のこと、家庭でも保護者とともに視聴し学習に役立てるよう工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○「デジタルたんけんブック」では、動画や資料を見ることができ、児童が楽しみながら学習を進めていけるような工夫がみられる。</p> <p>○児童の発達段階を考慮した表記・表現になっている。</p>	
総括	<p>○教科書のサイズが、低学年が持ちやすいようになっていて、写真やイラストが明るい雰囲気があり、児童が興味をもって学習に取り組めるよう工夫されている。タブレットの活用方法が、わかりやすく提示されていて、進んで取り組みたくなるような工夫がみられる。</p>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【音楽】

書名 項目	音楽のおくりもの	17 教出
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○確実に学びが定着するように題材を設定している。特にリコーダーの新出音は緩やかに学べる構成になっており、発達段階に即した技能の定着に配慮されている。</li> <li>○共通事項の「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」として示し、その働きを意識しながら学習できるような工夫がなされている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽の特徴を捉えたり、思いや意図にあった表現を高めたりするための体を動かす活動が配置され実感を伴った学習ができるような工夫がなされている。</li> <li>○「学びナビ」には児童の気づきや思いを引き出すような問いが示され、話し合ったり、共有したりして学びが深まるような工夫がなされている。</li> </ul> <p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に「まなびマップ」が配置され、年間を通して学習の見通しがもてるような工夫がなされている。</li> <li>○二次元コードの「学びリンク」には豊富なウェブコンテンツが準備され、演奏法や教材曲の解説やインタビューなど児童自ら学べる工夫がなされている。</li> </ul> <p>&lt;生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○世界の幅広い地域や時代から選ばれた教材が表現領域にも配置され、低学年から多様な音楽に親しむことができる工夫がなされている。</li> <li>○「Short Time Learning」には、英語や理科、数学に関わる楽曲も掲載され教科横断的な学習が展開できる。</li> <li>○歌唱共通教材以外にも季節や情景を感じ取ることができる日本の歌が多く掲載されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌唱共通教材の内容を活かしたワイドな写真を掲載し、想像力を育む工夫がなされている。</li> <li>○中学年以降の巻末折込にリコーダーの運指図が配置され、教科書のどの頁を開いても、児童が自ら確認できるように配慮がなされている。</li> <li>○紙面全体に色覚等への特性をふまえた配色やレイアウトが使用されており、色覚の多様性を問わないカラーユニバーサルデザインへの配慮がなされている。</li> <li>○「君が代」のページには全学年に細石の写真と国際試合での歌唱写真が掲載され、国歌の担う国際的な役割についての理解を深めることができる。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○二次元コードに演奏と楽譜のアニメーションで旋律の動きを捉えることができる動画が視聴でき、視覚的に音を捉えることができる。</li> <li>○鑑賞教材では発達段階に即した楽譜が示され、楽譜と共に楽器のイラストや写真が配され視覚的に音を捉える工夫がなされている。高学年ではオーケストラスコアが示され、中学校の学習との繋がる配慮がなされている。</li> <li>○表現教材では発達段階に即した楽譜が用いられ、スモールステップで楽譜を読む、書く力を身に付けさせることができる工夫がなされている。</li> <li>○音符や休符、記号については巻末にまとめられており、特に音符の長さについてはテープ図で表され視覚的にも捉えられる工夫がなされている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○精選された題材が系統性と発展性をもって組織され、児童が楽しみながら音楽的な見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な学びが展開できるように配列されている。</li> <li>○学びの系統性に配慮がなされ、スモールステップで児童の学習が深まるような工夫がなされている。</li> <li>○二次元コードから豊富なコンテンツにアクセスでき、一人一人の児童が自分の学びを調整できる工夫がなされている。</li> <li>○我が国及び諸外国の多様な地域・時代についての教材が配置され、音楽の持つ多様性やそれぞれのよさを愛する心情を育む工夫がなされている。</li> </ul>	

### 第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【音楽】

書名 項目	小学生の音楽	27 教 芸
内容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○吹き出しの言葉は、音楽の構造や音楽の要素などを関連付けながら考え表現する力を育み、技能を向上させるための手立てとして示されている。</li> <li>○題材に沿って相互に関連をもった多くの教材が配置されており、歌唱や器楽、鑑賞、音楽づくりの学習活動を繰り返しながら音楽の力を身に付けていくように題材構成が工夫されている。</li> </ul>	
	<p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の手順やポイントなどが図やイラストで提示されており、思いや意図を表現するための方法を考えるように配慮されている。</li> <li>○キャラクターの言葉は、音楽の構造や音楽の要素を関連付けながら主体的、協働的な活動をするための手助けとされている。</li> <li>○各教材の最後には、学習の振り返りを促す問いかけがあり、何を学んだのかを思考し、学習を積み重ねていくように配置されている。</li> </ul>	
	<p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「どのように活動し」「何を学ぶか」「何ができるようになるか」など、活動のポイントが各教材ごとに提示され、主体的に考えながら学習目標を達成し、さらに学びが発展していくように工夫されている。</li> <li>○「歌いっごう日本の歌」の配置は、日本語の美しさ、自国の文化を大切にするように工夫されている。</li> </ul>	
	<p>＜生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○演奏家や音楽に関わる仕事をしている人のコラムやインタビューは、人と音楽の関わりや音楽の持つ力について考えを深めていくきっかけづくりとして掲載されている。</li> <li>○様々な国の人が、音楽を楽しむ様子を写真で紹介することで、他国の文化を尊重する心を育み、国際理解教育につながるように工夫されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鮮やかなイラストや大きな写真は、想像力や発想力を高め、思いを表現するための手立てとなっている。さらに教材への関心が高まり、学習意欲向上へとつながるように工夫されている。</li> <li>○君が代は発達段階に応じた解説を掲載し、背景に日本独自の伝統文様を使うなど日本の文化が大切に扱われている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鑑賞の教材では、発達段階に応じて図形譜や楽譜を掲載し、楽曲の特徴を視覚的にとらえるように工夫されている。</li> <li>○巻末は、共通事項について楽譜やイラストを使いながら説明し、視覚的にとらえられるように配慮されている。音符や休符等については新出のものと既習のものを色で区別し、わかりやすく示されている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌唱、器楽、鑑賞、音楽づくりの教材を関連させながら配置し、それらの活動を通して表現力や創造力を育み、学習を積み重ねながら豊かな音楽性を養うような題材が構成されている。</li> <li>○表紙は各学年で取り扱う学習内容や人権教育に配慮されたイラストが描かれており、見通しをもった学びが始められるように配慮されている。</li> <li>○「歌いっごう日本の歌」は各学年で扱われ、自国の音楽文化を受け継ぐ心情を育む工夫がされている。</li> <li>○社会の歴史や総合的な学習などと横断させながら、学びが発展していくように教材が配置されている。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【図画工作】

書名 項目	図画工作	9 開隆堂
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○巻末にまとめられた『学びの資料』は、製作の手順、用具・材料の使い方や造形的な活動に必要な知識や技能が写真やイラストで示されており、発達段階に応じた学習活動を進めるための手がかりとしての活用が期待でき、基礎的な知識・技能が身につくようになっている。</p> <p>○様々な素材を使って、豊かな感性を育てるような題材が多い。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○『アイデアシート』や『ひらめきショートチャレンジ』などのデジタルコンテンツは、創造的な発想や構想を促すような学びの動機付けとして活用できるように準備されている。</p> <p>○写真やイラストが大きく細部まで見やすく掲載されており、色分けされた吹き出しによって、児童が考えたり、発想を広げるためのヒントとして活用できるようになっている。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○3つのキャラクターによる「○○したらどうなるかな？」「○○したよ」「○○してみよう」などの親しみやすいナビゲートで『学習のめあて』が示されており、学習活動のイメージがつきやすく、学習課題が明確になるようになっている。</p> <p>○題材によって、“仲間との関わり”を促すような写真やイラスト、問いかけ、吹き出しがあるため、他者と交流しながら多様な活動の場面の例示や協働して学習することのよさを味わわせるようになっている。</p>	
	<p>&lt;表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実するための工夫&gt;</p> <p>○『小さな美術館』『つながる造形』『みんなのギャラリー』などでは、造形的な活動が人や地域社会とつながっていることが分かるような多様な作品が掲載されており、取り組みを紹介して、児童の興味・関心を喚起させ、造形的な見方や感じ方を培うことができるようになっている。</p>	
	<p>&lt;用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫&gt;</p> <p>○『学びの資料』やデジタルコンテンツの動画視聴によって、安全に留意した用具の使い方を示しており、適時確認しやすくなっている。</p>	
資料	<p>○作品の写真とともに製作工程も示されており、作品の完成イメージがもちやすい。</p> <p>○身近で親しみやすい写真資料や伝統工芸・諸外国の作品・著名な作品など多様に掲載されており、資料が更新されている。</p> <p>○掲載されている以外の作品の資料は、デジタルコンテンツによって詳細に補完されている。</p>	
表記・表現	<p>○3つのキャラクターによって『学習のめあて』が色分けされて示されているため、学習のめあてを明確にさせて学習に取り組ませるようになっている。</p> <p>○各題材には、用具や材料、QRコード、片付け、ふりかえり、他教科との関連などが見開きで構成されており、学習活動の流れがつかみやすくなっている。</p>	
総括	<p>○感性にはたらきかける題材が多い。</p> <p>○立体の造形的活動が多く、児童に多くの経験的な学習活動が期待できる。</p> <p>○作品に番号がつけてあるため、指示しやすい。</p> <p>○表現についての図解が多く掲載されている。</p>	

第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【図画工作】

書名 項目	図画工作	116
		日 文
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○巻末にまとめられた『材料と用具のひきだし』は、発達段階に応じて系統的に用具の使い方や材料の特徴、製作工程、製作に必要な知識や技能などが写真やイラストで示されており、活用しやすくなっている。</p> <p>○全学年を通して、本を読んで感じたことやイメージしたことを絵に表現する題材が繰り返し設定されているため、知識や技能が積み重ねにより定着していくように構成されている。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○『教科書美術館』『外国の友達の絵』『〇〇を生かして』『[3・4下]ひらめきのタネ』などのコーナーは、造形的な見方・考え方を促すように『図工の見方』として独立して紙面を割いているため、具体的な言葉かけが分かりやすく、様々な視点から児童の発想を広げられるように工夫されている。</p> <p>○『鑑賞にヒント』『めあてのヒント』は、造形的な学習活動を進める際の手がかりとして活用でき、製作に迷った時に立ち返る拠所として活用できる。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○各巻に『オリエンテーションのページ』が設けてあり、各年度当初に主体的に造形活動に取り組めるような仕掛けや教科の見通しをもたせるための工夫がある。さらに、各題材に、“めあて～ふりかえり”までの学習の流れが分かりやすく配置されている。</p> <p>○幼児教育段階～中学校教育段階までを鑑みて、題材や図画工作で学ぶ内容を系統的に構成されており、知識や技能、造形的な見方・考え方の積み重ねが構造的に分かるようになっている。</p>	
	<p>&lt;表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実するための工夫&gt;</p> <p>○『教科書美術館』『広がる図工』では、各学年に応じた国内外の作家の美術作品が掲載されており、鑑賞の知識や美術作品に能動的に触れてみようとする意欲を喚起し、デジタルコンテンツによって、作家や作品について深く調べることができるようになっている。</p> <p>○鑑賞の学習活動に取り組みやすいように、鑑賞の仕方について独立して掲載されている。さらに、『アートカードを楽しもう』や『[5・6上]ミニ・アートカード』は、デジタルコンテンツとして用意されており、発達段階に即した活用の仕方に広がりがある。</p>	
	<p>&lt;用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫&gt;</p> <p>○『材料と用具のひきだし』やデジタルコンテンツによって、安全に留意した用具の使い方を示しており、『ポイント』や『気をつけること』など分かりやすく説明されている。</p> <p>○SDGsの視点から、材料の再利用や注意喚起が明確に示されている。</p>	
	<p>○作品の写真や吹き出しが多く、発想や構想、表現方法などのヒントになりやすい。また、写真資料の児童の姿が自然体で親しみやすい。</p> <p>○造形的な活動に必要な情報を簡潔に示しているため、活動の資料として読み込むことが容易にできるようになっている。</p> <p>○写真やイラスト、参考例等が多数掲載され散るため、児童が作品構想を練る際のヒントとして役立てることができる。</p>	
表記・表現	<p>○ピクトグラムによって『学習のめあて』が色分けされて示されているため、学習のめあてを明確にさせて学習に取り組みせるようになっている。</p> <p>○各題材には、用具や材料、QRコード、片付け、ふりかえり、他教科との関連、鑑賞のヒントなどが見開きで構成されており、学習活動の流れがつかみやすくなっている。</p>	
総括	<p>○授業の流れが見通ししやすいページ構成である。</p> <p>○必要なことを積み重ねていく表現や技能を重視している。</p> <p>○他教科との関連が強く、材料の使い回しができるような題材の構成がある。</p> <p>○デジタルコンテンツが豊富である。</p>	



第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告  
 種目（教科等）【家庭】

項目	書名 <b>新しい家庭</b>	2 東 書
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の最初に「めあて」、学習の最後に「振り返り」を設け、こまめに学習を振り返り、内容の定着ができるように工夫されている。</li> <li>○各実習に「できたかな？」のチェック欄があり、自己評価できるよう工夫されている。</li> <li>○実習場面や巻末に基礎的・基本的な技能をおさえるために「いつも確かめよう」が掲載されている。</li> </ul>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○【ステップ1】見つめよう【ステップ2】計画しよう・実践しよう【ステップ3】生活に生かそう・新しい課題を見つけよう などの流れで構成されており、見通しをもって、問題解決的な学習ができるよう工夫されている。</li> <li>○大題材のはじめに「家庭の窓」として、家庭科の見方・考え方を示すことで学習の視点が明確になっている。</li> <li>○「やってみよう」「話し合おう」「調べよう」「深めよう」「考えよう」では自分の考えや活動の過程を記録することができる。</li> </ul>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「生活を変えるチャンス」では、学習を振り返り、生活を見つめ直して課題解決するための実践的な活動を促すよう工夫されている。</li> <li>○「成長の記録」を掲載し、次へのチャレンジを記入することで自分の成長が一目でわかるようになっている。</li> </ul>	
	<p>〈実践的・体験的な活動の工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○左利きの写真を取り入れるなど誰にでもわかりやすい資料が入っている。</li> <li>○「夏休みわくわくチャレンジ！」では学んだことを家庭で生かして実践できる具体例が示されている。</li> </ul>	
	資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ステップごとに合わせたQRコードが奇数ページに記載されている。</li> <li>○多様な資料や「生活を変えるチャンス」といった活動の紹介により、自分の家庭生活を振り返ろうとする意欲を喚起するように工夫されている。</li> <li>○働いている人の「特集プロに聞く！」がある。</li> <li>○SDGsの特設ページがあり、持続可能な社会づくりと関連づけながら学習できるよう配慮されている。</li> </ul>
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実習で行う作業が実寸大の写真で示されている。</li> <li>○さまざまな年代の人が子供たちと交流する様子が表紙に描かれている。</li> <li>○ユニバーサルデザインの観点から、配色や字体など工夫し採用している。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○【ステップ1】見つめよう【ステップ2】計画しよう・実践しよう【ステップ3】生活に生かそう・新しい課題を見つけよう などの流れで問題解決的な学習ができる。</li> <li>○働いている人の特集プロに聞く！があり、それぞれの分野や職業について興味・関心をもつことができるように工夫されている。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告  
種目（教科等）【家庭】

項目	書名 <b>わたしたちの家庭科</b>	9 開隆堂
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「できたかな」という振り返りのチェック欄を設け自己評価ができるように工夫されている。チェック欄の項目の内容が具体的であり、児童が自分自身の知識・技能について明確に学習を振り返ることができる。</li> <li>○QRコードを読み取ると動画で詳細に確認・説明がなされており、よりわかりやすく知識・技能の習得を図ることができる。</li> <li>○重要な言葉が太字で記載されており、一目でわかるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のはじめは「なぜ〇〇をするのだろうか」の問いかけから導入し、生活の課題に対する気づきがなされるよう工夫されている。</li> <li>○「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」という3つの学びの段階が示され、見通しを持って学習できるよう工夫されている。</li> <li>○「調べよう」「やってみよう」「話し合おう」「考えよう」などが示されており、児童が思考を深めたり対話したり体験したりする活動が入れられている。</li> </ul> <p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元のはじめに「学習のめあて」が具体的に示されており、見通しをもって学習することができる。</li> <li>○「生活にいかそう」の項目があり、学習したことをこれからの生活にどのように生かしていくかを考える場面を設定している。</li> </ul> <p>&lt;実践的・体験的な活動の工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○長期休みに取り組むことができる「レッツトライ!」では、身につけた技能を生活に実践する手立てが示されている。学びを生活の中で実践するための配慮がされている。</li> <li>○左利きの包丁の使い方、布の切り方など写真での説明がなされ、配慮されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○QRコードが奇数ページにあり、学習内容に関する動画やワークシートなどの資料が豊富に用意されている。</li> <li>○裏表紙に調理でよく使う野菜の切り方と材料や布地の長さを測ることができる目盛りが記載されている。</li> <li>○「キャリアインタビュー」では、その分野で活躍する人にスポットを当て、それぞれの分野や職業について興味・関心をもつことができるように工夫されている。</li> <li>○学習を通して生活を振り返るとき、SDGsを意識して学習できるよう配慮されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表紙や教科書の中で、多様なキャラクターの登場人物が示されている。多様性を意識したつくりになっている。</li> <li>○実習や活動の手順を示すイラストや写真、説明文が色の帯で左から右に見開きページで配列されており、実際の活動をイメージしやすいよう配慮されている。</li> <li>○防災のマークがあり安全教育との関連が明確である。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」など3つの学びの段階が示され、見通しをもって学習できるよう工夫されている。</li> <li>○「キャリアインタビュー」ではその分野で活躍する人にスポットを当て、それぞれの分野や職業について興味・関心をもつことができるように工夫されている。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【保健】

書名 項目	新しい保健	2 東 書
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○各項の内容が「気づく・見つける」→「調べる・解決する」→「深める・伝える」→「まとめる・生かす」の4つの段階で構成されており、「まとめる・生かす」では、学習を整理できるよう工夫されている。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○「深める・伝える」では、学習した内容を記述するだけでなく、自分の生活の中で似た事例やほかの事柄と繋げて記述ができるよう工夫されている。</p> <p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○各章の最初に章の目標が明記されており、各項で学習することがどのようにして繋がっていくのかが児童の目から分かりやすく、見通しを持って学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>&lt;健康・安全についての理解を深めるための工夫&gt;</p> <p>○「資料」「まめちしき」「解説」などの補足資料が多くあり、デジタルコンテンツなどで理解が深められるよう工夫されている。</p> <p>&lt;生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫&gt;</p> <p>○運動と健康の関係を考える資料として、卓球の平野選手や車いすテニスの国枝選手を取り上げており、児童が考えるきっかけになるよう工夫されている。</p> <p>○「はってん」において、中学校の学習問題を示し、系統性を考えて学習できるよう工夫されている。</p>	
資料	<p>○各章の導入では、身近な題材を取り上げ、自分の経験を振り返る活動が取り入れられるよう工夫されている。</p> <p>○資料として、写真やQRコードが多く取り入れられ、児童の理解を深められるよう工夫されている。</p> <p>○各章末では、多くの今日的な健康課題やアスリートの言葉が取り上げられる等、児童の意欲を喚起するよう工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○1時間の内容が4ページにまとまっており、導入のページが右側になっていることで、児童が先の学習内容を見ずに、導入の質問に答えたり、自分の考えを書く活動に取り組んだりすることができる。</p> <p>○UDフォントやユニバーサルデザインに配慮した配色で、誰もが学習に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○共生社会の形成に向けた視点から、学習内容と関係するSDGsの目標を記載したり、思春期にあらわれる変化について配慮した表現をしたりしている。</p>	
総括	<p>○学習課題を単元の最初に明記することで、児童に見通しを持たせたり、単元の最初のページで先の見えないような配置になっていたりと、児童が自分で考えて学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○有名なアスリートの資料を用いたり、中学校との接続を意識した内容を取り入れたりとすることで、生涯にわたって健康に対する意識を持たせるよう工夫されている。</p>	

第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【保健】

項目	書名	4
	たのしい保健	
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○各単元末に学習内容を振り返って確認できる問題があり、基礎基本の内容が習得できるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○「活かそう」で学習したことを自身の生活にどのように活かしていくかを思考し表現できるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○導入での「つかもう」「学習ゲーム」で児童が楽しく、興味をもって学習に入ることができるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;健康・安全についての理解を深めるための工夫&gt;</p> <p>○「もっと知りたい」や「ミニちしき」のコーナーでの情報量が豊富で、理解を深められるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫&gt;</p> <p>○アスリートの語りを掲載したり、運動の例を示したりすることで、運動と健康について関連付けて考えられるよう工夫されている。</p> <p>○「はってん」において、中学校の学習内容を示し、系統性を考えて学習できるよう工夫されている。</p>	
資料	<p>○各単元の導入に「学習ゲーム」があり、児童の意欲を喚起するよう工夫されている。</p> <p>○QRコードを読み取ることで、さらに詳しい情報を得ることができるなど、深い学びに繋げることができるよう工夫されている。</p> <p>○「たのしい保健ウェブサイト」では、動画を見て実践的に学ぶことができるよう工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○各単元の導入に「学習ゲーム」があり、児童が興味関心をもって学習に入ることができるよう工夫されている。</p> <p>○1時間の学習内容を見開き2ページでまとめ、児童が読みやすいよう工夫されている。</p> <p>○「ミニちしき」や「もっと知りたい」など、知識の幅を広げられるよう工夫されている。</p>	
総括	<p>○導入の活動「つかもう」や「学習ゲーム」において、児童の学習意欲を喚起するよう工夫されている。</p> <p>○「もっと知りたい」や「ミニちしき」、「たのしい保健ウェブサイト」など、理解を深めることができるよう工夫されている。</p>	

第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【保健】

書名 項目	新 小学校保健	50
		大修館
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○各項の活動は「つかむ」→「課題解決」→「まとめ」の3段階で構成されていたり、毎時間の最後にはウェブクイズが用意されていたりと、知識が取得できるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○学習で扱われる問題は、身近な生活課題が多く用いられており、また、各章の最後には「学習をふり返ってみよう」のページがあり、学習したことを記述する欄が設けられているなど、自分の考えを深められるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○毎時間の最後に設けられた「まとめ、生かそう・伝えよう」や単元の最後の「学習をふり返ってみよう」では、児童が学んだことをふり返り、今後の生活に生かせるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;健康・安全についての理解を深めるための工夫&gt;</p> <p>○「はってん」や「体育の窓」「まとめ」などの学習したことの理解できるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫&gt;</p> <p>○巻頭や各章の初めには、ニュースや健康に関する活動の写真などが使われており、健康な生活と学習をより深く繋げて考え、学習できるよう工夫されている。 ○「はってん」において、中学校の学習内容を示し、系統性を考えて学習できるよう工夫されている。</p>	
資料	<p>○各単元の導入や単元の途中で写真、イラスト、吹き出しなどで情報や資料が用意されており、児童の理解の手助けとなるよう工夫されている。 ○「資料」や「はってん」では、日常生活で起こりうる題材を取り上げたり、QRコードで動画やクイズに取り組んだりすることで、学習の理解をさらに深められるよう工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○各項では、学習を構成する内容が3つの段階で示されており、また学習内容は見開き2ページでほとんど収められている。 ○UDフォントやユニバーサルデザインに配慮した配色やフォントを使用し、見やすい配慮がなされている。 ○多様性の尊重の視点から、性、年齢、障害の有無等にもとづく差別や偏見につながったりすることのないように配慮した記述がされている。</p>	
総括	<p>○学習したことをもとに、自らの考えを記述したり、振り返りを記述したりすることで、思考力・判断力が育成できるよう工夫されている。 ○デジタルコンテンツや豆知識などで、体験的に知識を得たり、理解を深めたりできるよう工夫されている。</p>	

第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【保健】

書名 項目	新わたしたちの保健	
	207 文教社	
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○「課題をつかむ」→「課題解決のための活動」→「まとめ」→「活用」という構成であり、学習する流れがスムーズにいくよう学習課題に順序性を持たせ、基礎的・基本的な内容が習得できるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○「もう一步先の自分へ」や「わたしの〇〇宣言」において、自身の健康課題やその解決方法、自分にできることなどを思考し、考えを深め記述できるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○「本時のメニュー」で学習する内容を示し、児童が見通しをもって活動できるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;健康・安全についての理解を深めるための工夫&gt;</p> <p>○「もっと考えよう課」や「もっと知っところ課」においての情報量が豊富であり、さらなる理解を深めるための工夫がされている。</p>	
	<p>&lt;生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫&gt;</p> <p>○「わたしの〇〇宣言」において、今後の生活で生かしたいことなどを記述し、生涯にわたって健康について考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○中学校の内容を「発展」の中に示し、系統的に指導ができるよう工夫されている。</p>	
資料	<p>○「もっと知っところ課」や「発展」などにおいて、多くの情報や課題を取り上げ、児童の意欲を喚起するよう工夫されている。</p> <p>○QRコードを読み取ることで、多くの情報を得ることができるよう工夫されている。</p> <p>○「わたしの〇〇宣言」や「もう一步先の自分へ」で、学んだことをさらに深め、今後に生かすことができるよう工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○ユニバーサルデザインを取り入れ、書体や文字の大きさ、色への配慮など、読みやすいように工夫されている。</p> <p>○イラスト中心のレイアウトで、キャラクターの説明もあるなど、学習内容を理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>○学習内容と関係するSDGsの目標を記載したり、思春期にあらわれる変化について配慮した表現をしたりしている。</p>	
総括	<p>○「もう一步先の自分へ」や「わたしの〇〇」宣言において、学習したことのまとめや自身の課題、今後に生かしたいことなどを記述し、考えを深め、生涯にわたって健康について考えられるよう工夫されている。</p> <p>○「もっと考えよう課」「もっと知っところ課」において、児童の意欲喚起、さらなる知識技能の習得ができるよう工夫されている。</p>	

第 1 3 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【保健】

項目	書名	208
	小学保健	光 文
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○各章末に「学習のまとめ」を設け、基礎的・基本的な内容が習得できるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○「学んだことを生かそう」で、自分の生活を振り返り、学んだことを生かすことができるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○「学んだことを生かそう」で、学習内容をこれからの自分の生活に生かす視点を用意することで、児童が自分ごととして学習内容を活用できるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;健康・安全についての理解を深めるための工夫&gt;</p> <p>○「さらに広げよう、深めよう」や「科学のとびら」などのコーナーにおいての情報量が豊富で、さらなる理解を深めるための工夫がされている。</p>	
	<p>&lt;生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫&gt;</p> <p>○著名なアスリートの言葉や運動についての情報を掲載することで、運動と健康を関連づけて考えを深めることができるよう工夫されている。</p> <p>○「はってん」で、中学校の学習内容を示すことで、系統的に指導ができるよう工夫されている。</p>	
資料	<p>○各単元の導入に、ストーリー性のあるイラストと会話が掲載されており、児童が意欲をもって学習に向かえるよう工夫されている。</p> <p>○「さらに広げよう、深めよう」においての情報量や課題が豊富で、児童の意欲を喚起するよう工夫されている。</p> <p>○QRコードを読み取ることで、さらにくわしく学習できるよう工夫されている。</p>	
表記・表現	<p>○1 単位時間の学習内容が見開き 2 ページにまとめられており、読みやすく学習内容を理解しやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインを取り入れ、文字や色に配慮され、読みやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○イラストを中心としたレイアウトで、児童が抵抗なく学習に入れるよう工夫されている。</p>	
総括	<p>○「学んだことを生かそう」において、自分の生活の課題について思考したり、これからの自分について考えを深めたりすることができるように工夫されている。</p> <p>○「さらに広げよう、深めよう」や「科学のとびら」での情報量が豊富で、児童が理解を深めたり、意欲を喚起させたりできるよう工夫されている。</p>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【保健】

書名 項目	新 みんなの保健	224
		学 研
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p>○各項の内容は「つかむ」→「取り組む」→「対話的な活動」→「活用」の4つのステップで構成され、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>○各章の最後に、それまでの学習を振り返り、記述するページが設けられており、自ら考えたことや、友達と話し合ったことをもとに、学習内容を今後の生活に生かせるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>○各章の最初に1時間の学習を構成する3つのピースが示されており、児童が見通しを持って学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	
	<p>&lt;健康・安全についての理解を深めるための工夫&gt;</p> <p>○各章末の振り返りや章の途中には、「はってん」や「ほけんのはこ」などのデジタルコンテンツがあり、学習した内容についての理解をより深める工夫がされている。</p>	
	<p>&lt;生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫&gt;</p> <p>○巻頭に健康と夢の関りや、保健の学習の大切さや世界とのつながりを感じられる資料を掲載することにより、健康について考える工夫がされている。 ○中学校の内容を「発展」とし、中学校への接続が意識された構成となっている。</p>	
資料	<p>○イラストを中心として、単元の導入に児童の興味を惹くような工夫がされている。</p> <p>○今日的な健康課題を「ほけんのはこ」や「もっと知りたい・調べたい」などで取り上げ、さらにQRコードを活用することで、より詳しい内容を学習できるような工夫がされている。</p> <p>○単元末には学習の振り返り、それ以外のページでは、自分で考えたことや、これからの実践などを記述する欄がある。</p>	
表記・表現	<p>○学習の進め方が3つのピースで構成・明記されており、1単元時間が見開き2ページ（4ページ）にまとめられている。</p> <p>○イラストを中心としたレイアウトや、UDフォントの使用や配色の工夫があり、誰にでも学習しやすい配慮がなされている。</p> <p>○現代的な諸課題に対応する視点から、個人差や多様性に配慮した記述をいたり、ICT機器等を使うときの健康・安全について記載したりしている。</p>	
総括	<p>○各章の初めにある3つのピースのうち、1番目は振り返りになっており、自らの経験をもとに学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○保健の学習の進め方が明記され、見通しをもち、主体的に学習に向かうことができるよう工夫されている。</p>	



第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語】

書名 項目	NEW HORIZON Elementary English Course	2
		東 書
内容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元で使われる語彙等の歌やチャンツの活動と「Sounds and Letters」アルファベットの文字と音を知る活動が毎時間ある。「Let's Watch」「Let's Listen」で視覚や音声から基礎知識を習得できる。</li> <li>○「Let's Try」で慣れ親しんだ表現を活用してやり取りを行い、「Enjoy Communication」で学習内容を振り返りながらコミュニケーションを図る工夫がされている。</li> </ul>	
	<p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○導入「Starting Out」では単元の学習内容に慣れ親しみ、展開「Your Turn」では既習事項を使ったやり取りを通し、定着が図られるようになっている。まとめ「Enjoy Communication」では会話を広げていく。年間3回、思考ツールを使って内容を整理し発表する「Check Your Steps」がある。</li> <li>○他教科に関連したCLIL（内容言語統合型学習）が充実している。</li> </ul>	
	<p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「Enjoy Communication」では単元の目標となる活動を行う「Your Goal」を視野に入れ、自分の考えや思いを伝え合いながら、話題を広げられるようになっている。</li> <li>○学ぶ意欲を高めるために、パートを用意するなどの工夫がされている。</li> <li>○5年生は日本、6年生は世界を中心としたテーマ構成になっている。</li> </ul>	
	<p>&lt;聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○5つの領域別の目標と指導内容との関係が明確になるように、各活動にマークで示されている。</li> <li>○英語を使用する日常の場面が設定されており、日本や世界・SDGsなど児童の視野を広げ、目的・場面・状況を伴った言語活動が工夫されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大幅改訂したA4版別冊「My Picture Dictionary」に「Can Doの樹」がある。読みやすいように単語や文が1行で表示された。QRコードからプラスの単語（約300語）も探せる「Digital Dictionary」にアクセスができる。自分が調べた「マイ単語」を書き留めておける。調べ学習が楽しくなるDigital Mapコンテンツがある。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4線（2線は点線）と2線と3線の間は広い。開発したユニバーサルデザイン書体となぞり書き用のくさび形書体が使用されている。アルファベットを書く初期段階ではモデル字を左利きの児童にも見えるよう配慮している。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元が4段階で構成され、単元毎にOur Goalが示されている。単元末では異文化理解の内容が示され、「Sounds and Letters」では名前・音・文の順に学習するスモールステップの構成になっている。</li> <li>○映像の収録時間が約37%減になり、適切な指導時間が確保された。また「Plus!」マークで指導の重要度が区別できるようになっている。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語】

書名 項目	Junior Sunshine	9
		開隆堂
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○8つのLesson構成である。音声で基本的な語彙や英語表現と出会い、たっぷり英語らしい音を聞き十分に親しむことができる工夫がされている。</li> <li>○Lessonは、既習事項を確認する「Follow Up」、語句や表現を言う活動の「Let's Try」、グループや全体で伝え合う「Activity」の3部構成になっている。文構造を段階的に理解し自己表現ができるように工夫されている。</li> </ul>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音声から文字へのつながりが重視されている。53の歌やチャンツが収録され、言語活動では児童の生活に身近な場面設定がされており、対話に使用できる表現の記載、大きい書体での重要構文など、児童が活動に取り組みやすくするための工夫がみられる。習得した知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力の育成へとつなげられるように構成されている。</li> </ul>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元の終わりには、「Around the World」という異文化理解のパートがあり、また、身近な地域や自国の魅力を改めて考えることができるようにも工夫されている。巻末のCAN-DOチェックでは、児童が見通しをもって学習に取り組み、自らの学習状況を振り返ることができるようになっている。</li> </ul>	
	<p>〈聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○技能を表す絵文字マークで学習活動が示され、児童が見通しを持ちやすい工夫がされている。様々な技能を使い英語を習得していく内容構成である。</li> <li>○「読み・書き」は単元後半に独立している。各単元の後には学習した語句や表現で「Story Time」が収録され、読む学習に親しみやすくなっている。</li> <li>○「Activity」では、グループでの活動場面を絵と吹き出しで示している。児童が協同的学習の見通しが持ちやすいよう工夫されている。</li> <li>○教科書にQRコードが用意されており、467の音声・動画の学習コンテンツがある。教科書で触れる語彙として、757語が設定されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭には英語学習の目的が示され、「Classroom English 授業で使える20の表現」と既習表現を確認する「Let's Review!」がある。巻末には表現のまとめ、Map、カード等がある。別冊「Word Book」がある。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語は、独自に開発されたフォント（手書きの形に近い欧文書体）が使用されている。日本語はゴシック体で示され、どちらもUDフォントである。</li> <li>○A4版で、ゆとりある紙面にシンプルにレイアウトされている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語をたっぷり聞き何度も使う、音声で慣れ親しんだ英語と文字を結びつける、例文を見ながら書く、という学びのつながりが重視されている。4技能5領域の力をバランスよく育む構成である。各単元で扱う歌やチャンツは、学習内容とつながりがあり、英語らしい音やリズムに児童が親しめる内容である。人の言語習得の自然な流れに添った内容構成になっている。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語】

項目	書名	CROWN Jr.	15
			三省堂
内容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の見通しをもつ「HOP」、言語活動に取り組み語句や表現を身に着ける「STEP」、単元のまとめの言語活動をする「JUMP」の3段階構成である。</li> <li>○7つのLessonが設定され、語句や表現をインプットし、聞く・話すを中心とした言語活動で習得していく構成になっている。繰り返し表現に触れて習熟が図れるよう、4技能の活動がバランスよく設定されている。</li> </ul>		
	<p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「JUMP」では、全体を相手としながら、目的や場面を意識して、自分で話す内容や構成を考えて発表する活動が繰り返され、コミュニケーション力やプレゼンテーション力をつけることができるようになっている。</li> <li>○キャラクターの吹き出しでヒントが示されている。何を聞き取るのか、何をまとめるのかなどが提示されており、ポイントが明確化されている。</li> </ul>		
	<p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○言語や文化に関する題材や資料が配置され、異文化に対して理解が深められるように工夫されている。また、児童にとって身近な話題や場面でのコミュニケーション活動が設定され、主体的な学びに繋がる工夫がされている。</li> <li>○構造は基本的なものが選択され、外国語活動や中学校との接続を踏まえてJUMPに取り組めるように工夫されている。</li> </ul>		
	<p>＜聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Lessonは、「自分のGoal設定」「聞く」「話す」「読む」「書く」「話す（発表）」という流れで構成されており、各活動でどのような力を育成するかが4技能（5領域）のマークで可視化されている。</li> <li>○各単元の主な表現は「Phrase Chant」で繰り返し扱われ、文構造の気付きにつながるように工夫されている。</li> <li>○教科書175か所にQRコードが配置されており、単語や表現を音声や動画で確認することができる。使用される語彙は668語が設定されている。</li> </ul>		
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭には5年生に「世界のあいさつ」、6年生に「世界のまちかど」がある。「英語で言ってみよう」では、既習の語彙や表現が掲載されている。</li> <li>○巻末には「Story Time」「英語でこんなことができた!」やローマ字表、巻末カードがある。別冊の「My Dictionary」には、基本的な語彙や表現、CAN-DOリスト等が掲載されている。</li> </ul>		
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「読み」の活動用の書体は、中学校で主として使用しているものが使われている。日本語はゴシック体が使われている。</li> <li>○A4版で、ゆとりをもった余白で情報を吸収しやすい工夫がされている。</li> </ul>		
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元のはじめに目標を示し、HOP→STEP→JUMPをひとつのUnitとした、段階的な言語活動が設定されている。「ABC Fun Box」や「Try」など、児童が楽しみながら文字や音・表現を学習できるよう工夫されている。書く活動では必ずお手本が示され、自分で思考したことを書き入れやすくなっている。</li> </ul>		

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語】

項目	書名	17
	ONE WORLD Smiles	教出
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「Let's Watch」では映像で内容を捉え、「Let's Say It Together/Sing」で口慣らしをし、「Let's Listen」で聞き取り活動をし、「Sounds and Letters」では学んだ発音や表記を復習できる構成になっている。</li> <li>○「Let's Read/Write」が新設され、1文ずつ読んだり書いたりするコーナーが設けられている。</li> </ul>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「Let's Think」では気付きや思考を促す問いが設定されている。「Final Activity」では既習事項を使い、自分のことについて表現する活動がある。</li> <li>○同じフレーズを異なる目的・場面・状況に合わせて、楽しく発話・表現する「なりきり！Action!」が設定されている。</li> </ul>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○海外に暮らす同年代の子供たちの声や学校生活などを紹介することで、違いだけでなく共通点も感じられる「World of Smiles」がある。</li> <li>○児童がわくわくする「日本や世界の名所・名物マップ」が新設された。</li> <li>○コミュニケーションの中での励ましや相槌の表現が紹介されており、他者へ配慮した活動が行なわれるようになっている。</li> </ul>	
	<p>〈聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○单元ごとに、5つの領域別の目標が記号や色分けで明示してある。</li> <li>○児童の身近な暮らしに関わる場面を中心としつつ、特有の表現が使われる場面もバランスよく設定されていて、コミュニケーションを通して表現の意味や働きを体験的に理解できるように工夫されている。</li> <li>○文法用語を使わず文構造への意識を段階的に育む活動を取り入れている。</li> </ul>	
	<p>○巻頭に1年間の学びのロードマップ「Welcome to One World Smiles」がある。「Classroom English」「Let's Start Together」では絵資料と共に学んだ英語の語彙や表現に触れられる。</p> <p>○巻末には「My World Bank」、歌やジングル、絵カードなどがある。</p> <p>○QRコードからアクセスできる「まなびリンク」には「やり取り・発表の動画」「リズムに合わせた口慣らし」等のコンテンツがある。</p>	
表記・表現	<p>○字体はユニバーサルフォントが使用されている。4線の上下幅の比率は4：5：4で、3線は青色、それ以外は薄い灰色になっている。</p>	
総括	<p>○各单元が「Let's Watch/Sing/Listen/Say It Together, Activity」でシンプルに構成されている。巻頭で児童自身が1年間の目標を設定できるようになっている。年間2回ある「Let's Read and Act」では他教科との関連のある内容が示され、「World of Smiles」などでは異文化に触れられる。</p> <p>6年生の最終单元では総復習として、「My Book」にまとめる活動がある。</p> <p>○巻末教材やワークシート等言語活動を支える教材が充実している。</p>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語】

項目	書名	38
	Here We Go!	光村
内容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Hop!→Step1→Step2→Jump!というゴールまでの流れが見えるUnit構成で段階を踏んで基礎的な知識及び技能を着実に習得できるようになっている。</li> <li>○文字の学習は、スモールステップで少しずつ段階的に丁寧に学習ができるよう「Sounds and Letters」や「Fun with Alphabet」が設定されている。</li> <li>○各学年3か所に各領域の到達度を確認できる「You can do it!」がある。</li> </ul>	
	<p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各Unitに、言語活動を行う「Let's try.」と「Plus One」を設け、そのUnitで学ぶ表現だけでなく、既習表現を思い出せるような仕掛けが随所に設定され、児童が既習表現を加えて工夫できるようになっている。</li> <li>○「Jump」では、それまでに慣れ親しんだ語彙や表現を読む活動等が設定され、最後に自分の考えや思いを伝え合う活動が設定されている。</li> </ul>	
	<p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「Let's watch and think. コーナー」や「世界の友達」ページで、多様な文化や価値観に触れて、見方・考え方を広げられるよう工夫されている。</li> <li>○ストーリーを通じた学習で、コミュニケーションの目的や場面、状況が明確にわかる工夫がされている。言語活動でも、児童が興味・関心を持てる内容や題材を取り上げ、相手意識を持てるよう配慮されている。</li> </ul>	
	<p>＜聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○5領域の言語活動がバランスよく配置されている。全Unitとまとめには、重点化して指導・評価する領域がアイコンと共に示され、指導と評価の一体化を実現する上でわかりやすい工夫がされている。</li> <li>○読むこと、書くことは、まずは十分に聞いたり話したりして慣れ親しんでから、文字→単語→語句→文と段階を踏んで学べるよう工夫されている。</li> <li>○教科書紙面にあるQRコードからは、学習に必要な全てのコンテンツ（アニメーション、実写、音声等）がいつでも視聴でき、家庭でも活用できるよう配慮されている。教科書で触れる語彙が、712語の設定されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻末に年間の自分の学びが可視化できるシート「All About Me」があり、学びの足跡や成果を残すことができる工夫がされている。また、取り外し式の「Picture Dictionary」があり、場面に応じた表現等も確認できる。</li> <li>○教材として「言葉について考えよう」「災害と英語」「早口言葉」「英語の歌を楽しもう」「英語の物語」や単語や文の書き方、「Alphabet time」「Response」「おすすめの絵本」「ローマ字の表」が設定されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が学習しやすい4線の幅に対応した独自に開発した英語のフォントが使われている。日本語の文字はユニバーサルデザイン書体を使用している。</li> <li>○横幅の広いAB判サイズで、読みやすさ、見やすさが配慮されている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すっきりと見やすい紙面構成である。Hop1では、Unitの目標をCan-Do形式で示すととともに、全体の学習の流れが示されている。「何をどう学ぶか」を明確で、「授業の流れ」見えるように構成されている。既習表現の活用場面を随所に設定し、学んだことを活かせるよう工夫されている。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【外国語】

書名 項目	Blue Sky elementary	61
		啓林館
内容	<p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全てのUnit構成が、「とびら」、「Step1/2/3」、「Look Back」、「Did you know?」、「Let's Read and Write」となっている。</li> <li>○「Step1」「Step2」は聞く・話す活動が中心で、繰り返すことで定着できるように構成されている。「Step3」では、インプットしたことをアウトプットする発表活動が行えるようになっている。</li> </ul>	
	<p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○Chantでねらいとしている表現を繰り返し聞いたり、言ったりして定着を図れるようになっている。語彙や表現を理解した後、Activityで自分が伝えたいことを考え、ペアやグループで表現し合えるように工夫されている。</li> <li>○音声で十分に親しんだ表現を最後「書く」活動でまとめる構成である。</li> </ul>	
	<p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻末にある付録シートには、会話の中で使える様々な相槌や質問の表現が示されており、相手意識をもったコミュニケーションが身につく工夫がされている。また、「Did you know?」では異文化や日本とのつながりが紹介され、児童の興味・関心を引き出す工夫がされている。</li> </ul>	
	<p>〈聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「聞く」「話す」活動が複数にある。学習が進むにつれ、「読む」「書く」活動が増える。どの技能を重点的に扱うかがマークで示されている。</li> <li>○Unitで学習した表現を、以降のUnitでも発展して使えるように単元配置がされている。スパイラルに学習ができ、定着を図れる工夫がされている。</li> <li>○基本的な語彙は、Chant等を通して繰り返し聞いたり言ったりできるとともに、一部を変えて自分の言いたい表現に変えられる工夫がされている。</li> <li>○教科書にQRコードが配置されており、320の映像・音声コンテンツが収録されている。使用されている語彙は700語以上である。</li> </ul>	
	<p>〈資料〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭にアルファベット一覧、巻末にWord Listとミシン目入りの学習カードが付いている。世界の英語に触れる「Friends around the World」があり、世界各国の子供たちが英語で自分について話す動画が収録されている。</li> <li>○語句や表現を導入する際に、イラストなどをヒントにして音声を聞くことで、児童が自らその意味や使い方に気付けるように促している。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○UDフォントが使用され、すべての児童にとって学習しやすいように工夫されている。4線幅の比率は5:6:5を採用している。</li> <li>○A4版でイラストが大きめで文字はやや小さめの紙面構成である。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すべてのUnitが同じパターンで構成され、活動の位置も固定化されている。単元はじめにGoalが示され、言語材料を使用するアニメーションがある。Words and Phrasesで語句を音楽に乗せて学習できるようになっている。Chantでは、文や対話をリズムに乗せて聞いたり言ったりできる。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告  
種目（教科等）【道徳】

書名 項目	新編 新しい道徳	2 東 書
内容	<p>&lt;道徳科の目標に関わる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭には、教材で学んだことを基に自己を見つめる際の考え方が例示がされている。巻末の「考えよう」では、自己を見つめる発問を通して、自分との関わりで考えを深められるような工夫されている。</li> <li>○多様な考えを阻害しかねない記述は削除し、考えを誘導しない表現に改め、価値に迫りやすい場面の挿絵を追加する等の工夫がされている。</li> <li>○道徳的判断力・道徳的心情・道徳的実践意欲や態度を育むことを意図した教材がバランスよく選定、配置され、「考え、議論する道徳」を実現できるように工夫されている。</li> </ul> <p>&lt;現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現代的な課題に取り組む5つのユニット「人間関係、生命の尊厳、自己肯定感、情報モラル、防災・安全」が全学年に設定され、発達段階に応じて考えを深めることができるような工夫がされている。</li> <li>○困難に立ち向かい、不透明な時代を切り拓いた人物から学ぶ教材が多数あり、児童が自らの生き方を考えられるように工夫されている。</li> </ul> <p>&lt;発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教材は学年の発達段階に応じて、授業を楽しむ、道徳的価値の理解を深める、自分の生き方について考えることができるよう工夫されている。</li> <li>○教科書の巻頭に学年ごとに違う副題と詩がついており、発達段階に応じてよりよく生きるための手掛かりが工夫されている。</li> </ul> <p>&lt;「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業を通して養われるさまざまな「心のちから」が各学年の表紙及び巻頭詩ページに掲載されており、授業を通して養われる道徳性をイメージしながら学習できるよう工夫されている。</li> <li>○問題解決的な学習や役割演技等の道徳的行為に関する体験的な学習方法が取り入れられた教材が配置され、議論が深まるよう工夫されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○美しい挿絵やダイナミックな写真が随所に用いられ、イラスト形式や漫画形式の教材もある。個人差のある低学年においては挿絵を大きく掲載する等、児童が意欲的に学べるように工夫されている。</li> <li>○関連するWebサイトに遷移する二次元コードが教材の冒頭の定位置に掲載され、教材の理解支援のためのデジタル教科書も発行される予定があり、細部にわたって活用しやすい工夫がされている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○原則として、当該学年の一つ下の学年の配当漢字が使用されており、ふりがなや難しい言葉には脚注をつけるなどの工夫がある。</li> <li>○ワイドなAB版でUDフォントが使用されている。どの児童にも読みやすい工夫がされており、負担なく教材を読むことで、内容について深く考える時間を確保できるように工夫されている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻末には考えるためのツールが例示されており（4年以上には「心情円」も付録としてついている）、学習の記録を記入できるよう工夫されている。</li> <li>○QRコンテンツも充実している。定番教材やビジュアル教材、現代的な課題に目を向けさせる教材など、バランスよく構成配置されていて児童の興味・関心を高め自主的に学習に取り組めるよう工夫されている。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告  
 種目（教科等）【道徳】

書名 項目	小学道徳 はばたこう明日へ		17
			教 出
内容	<p>〈道徳科の目標に関わる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭には「道徳でこんな学び方をするよ」が、巻末には「学習をふり返ろう」が設けられており、学習を通して自らの変化や成長を実感し、今後の課題や目標を見つけることができる工夫がされている。</li> <li>○教材に設けられている「考えよう」「深めよう」では、児童が考え、議論しながら自分の思いを深められるような発問が工夫されている。さらに「やってみよう」「つなげよう」「問題を解決してみよう」を活用することで、多様な学びが展開できるように工夫されている。</li> <li>○教材の最後には【学びチェック】欄が設けられており、毎時間記入することで定期的に学習を振り返ることができるよう工夫されている。</li> </ul>		
	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現代的な課題（人権問題、SDGs、LBGTQ、新型コロナウイルス感染症等）に関する教材や資料を組み合わせることによって、自分の生き方を見つめ直し、自分事として考えられるように工夫されている。</li> <li>○「いじめ」や「情報モラル」は最優先課題として全学年で、他の課はも各学年でユニット化し、重点テーマとして学べるよう工夫されている。</li> </ul>		
	<p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○登場人物の悩みや葛藤、心の揺れなどに対する児童の多様な意見を引き出し、議論を活発化させるために、教材文の終わり方が工夫されている。</li> <li>○児童の発達段階に応じた教材の構成や配置が配慮されている。また、重点的に考えさせたい内容については、複数時間構成で学習することにより、自分の考えを深められるように工夫されている。</li> </ul>		
	<p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭の「道徳ではこんな学び方をするよ」では、道徳科の授業における考え方や言語活動を行う際のヒントなどが説明されている。丁寧に示されている。3年生以上の巻頭には、さらに深く考えられるようなタブレットの活用例を示すなど工夫されている。</li> <li>○コラム「みんなでやってみよう！」を全学年に設置し、体験的な活動を提示することで、よりよい人間関係の構築に必要なコミュニケーションスキルを高めるための工夫がされている。</li> </ul>		
	資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の教材内容の理解を助けるために、挿絵や写真・図が適所に配置されており学習効果が上がるように工夫されている。</li> <li>○児童にとって馴染みのない言葉やわかりづらい言葉については脚注で説明されているが、それらが思考の妨げにならないように配慮されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○低学年では分かち書き、文節改行が基本。漢字は当該学年の配当漢字を使用し、必要に応じて振り仮名や脚注が加えられ等工夫されている。</li> <li>○デジタルコンテンツを活用すると効果的な教材には、インタビュー動画や教材に関連する動画、写真を見られる二次元コードが付加されている。</li> </ul>		
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教材末の自己評価、巻末の「学習をふり返ろう」により、児童が短・長期的に自らの学びを振り返り、反省や成長を得られるよう工夫されている。</li> <li>○児童が主体的に考えたい発問や、多面的・多角的に考えられるような発問、役割演技などの体験的な学習を通して、日常生活の行動へとつながるように工夫されている。</li> </ul>		



第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【道徳】

書名 項目	道徳 きみが いちばん ひかるとき	38
		光 図
内容	<p>〈道徳科の目標に関わる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教材冒頭にキャラクターによる児童への呼びかけがあり、「自分ならどうするだろう、どう考えるだろう」と生活に結びつけて考えられる発問が配置され、主体的な姿勢で学習に取り組めるような工夫がされている。</li> <li>○読みの負担を軽減し話し合いの時間を十分に確保するため、道徳的な問題が起こっている場面そのものを、挿絵と短い文章で端的に示した教材が配置されており教師の授業構想に配慮した工夫がされている。</li> <li>○教材末に学習のてびき「考えよう・話し合おう」が設けられており、自分に引き寄せて考えたり、問題を解決したりするために話し合ったりするなど、多面的・多角的に考えられるよう発問が工夫されている。</li> </ul>	
	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教材＋コラムで構成された「ユニット」により、「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」の4つのテーマについて、自らが問題意識をもち、自分の生き方について考えることができるように工夫されている。</li> <li>○第6学年では、小学校生活のまとめとして、現代的な課題について、6年間の学びをつなげて考えられるような内容が工夫されている。</li> </ul>	
	<p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教材に描かれている道徳的価値を損なわないよう配慮しながら、ヒントとなりすぎる部分を削除したり表現を変えたりして「正解」を求めるような授業にならないよう文章を見直すなどの工夫がされている。</li> <li>○教材内容の理解を助け、イメージを豊かに広げる絵・写真が適所に配置されている。また、内容を解説するための写真や図・グラフが必要な箇所に付されており、本文の理解を助けるよう工夫されている。</li> </ul>	
	<p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○4月第一教材として、楽しみながら対話の力を育む「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」が設定されており、多面的・多角的な見方で考えを深めていけるように工夫されている。</li> <li>○「導入→教材→学習の手引き」で構成されており、教材の読み取りに偏ることなく、「考え、議論する」ことが学習の中心に据えられている。自我関与、問題解決的な学習、体験的な学習ができるよう工夫されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漫画形式、一枚絵、写真などをバランスよく配置している。また、教材に関連した本（話）を紹介し学習意欲を喚起する工夫がされている。</li> <li>○児童の生活実態や発達の段階に合わせて、内容や分量、世界の広がりなど、学年に沿って傾斜をつけた内容とするなどが工夫されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1学年は文節分かち書き、第2学年では3文節程度の分かち書きとなっている。また、第1学年では数字以外は平仮名が用いられ、第2～6学年では、当該学年の配当漢字に全て振り仮名が付されている。</li> <li>○低学年では、読みのつまづきを軽減できるよう、行頭に助詞がこないよう配慮されている。また、書体、文字の大きさ、色づかいや配置、デザイン処理などUDの視点も十分に配慮されている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○充実した学び方の指導方法や多様な資料・付録（ICTも含む）により、どの立場の教師にとっても活用しやすい教科書となっている。</li> <li>○親しまれている定番教材、読み物とは異なる形式で提示された教材等、広い視野で様々な話題に触れられるよう、いろいろなジャンルの教材がバランスよく掲載されている。また、学習活動をより豊かにするための学び方について扱った内容も豊富である。</li> </ul>	

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【道徳】

項目	書名	116
	小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート	
内容	<p>＜道徳科の目標に関わる工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭オリエンテーションページ「道徳のとびら」で、学習内容やねらいなどを端的に示したり、自分との関わりで考えられるような問いが掲載されていて、道徳的諸価値についての理解が深まるよう工夫されている。</li> <li>○別冊「道徳ノート」には自分の考えだけでなく、他の意見の記入をすることで多面的・多角的に学ぶことができる。また、児童の道徳性の成長の様子や学習状況を継続的に把握したり、指導や評価の参考に活かせるよう工夫されている。</li> <li>○コラム「心のベンチ」では、教材に関連する素材が提供され、多面的・多角的な思考を促すための工夫がされている。</li> </ul>	
	<p>＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻末の「見つけた！ここにも道徳」「SDGsで考えよう」では、道徳科の授業で学んだことを、身近な生活とつなげて考えたり、持続可能な社会の実現に必要なことを考えたりすることができるよう工夫されている。</li> <li>○「いじめ」について集中的に学習する「人との関わり」ユニットが各学年に年間3回設定されており、「いじめ」を自分事として考えられるよう工夫されている。</li> </ul>	
	<p>＜発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年の児童の生活に基づき、学校行事や他教科等の学習内容等との関係性を考慮した教材配列となるよう工夫されている。</li> <li>○保・幼、小連携として1年生ではイラストや写真中心に、高学年は中学校との接続を視野に、よりよく生きる喜びを実感し、国家・社会の一員としての自覚を育てられるように工夫されている。</li> </ul>	
	<p>＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭「道徳の学び方」では、話し合い活動を具体的に写真で提示するなど学習方法が解説されている。QRコンテンツからはさらに詳しい具体例を示した動画が視聴できるように工夫されている。</li> <li>○「ぐっと深める」は、「問題解決的な学習」や「体験的な学習」などの展開の様子が写真とともに掲載され、価値に対する理解を深められよう工夫されている。</li> </ul>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○別冊「道徳ノート」がついており、紙面と二次元コードからのデジタルノートと併用することができるという工夫がある。</li> <li>○教材名の近くにリード文とおもな登場人物が載っており、教材の理解をより深められるような工夫がある。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字は原則として当該学年の配当漢字までが使用されている。当該学年以上の漢字や固有名詞等の漢字には全てにふりがながつけられ、読みやすい工夫がされている。</li> <li>○各教材の冒頭にマークとキーワードを用いて内容項目と教材との関連が示されている。また、巻末には「学習内容一覧」が掲載されている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師用はもちろん児童用のデジタルコンテンツも充実しており、児童用タブレットの活用ができるよう工夫されている。</li> <li>○別冊として「道徳ノート」がついていることが特徴的である。</li> <li>○QRコンテンツには、教材の理解を深める画像や動画、アニメーション、「道具箱」のシンキングツールなどが豊富に用意されており、児童が主体的に学べるように工夫されている。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【道徳】

書名 項目	小学道徳 ゆたかな心	208
		光文
内容	<p>〈道徳科の目標に関わる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教材の冒頭に「導入」、末尾に「考えよう（中心発問、その他の発問）」「まとめよう」「ひろげよう」を設置し、授業の目的や流れを明確に示すことで考えや心の変容が自覚できるよう工夫されている。</li> <li>○教材末の「ひろげよう」の設問により、道徳的価値理解を深め、それを大切にしている心情を育てるとともに、実生活へ生かそうとする意欲を引き起こせるような工夫がされている。</li> <li>○巻末「学びの足あと」の記述を重ねることで、児童が自らが成長を実感し、新たな課題や目標を見つけることができるよう工夫されている。</li> </ul>	
	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が、多様化する現代社会を力強く、柔軟に生きていけるよう、ジェンダーやレジリエンスといった最新の動向も取り入れ、自分らしい生き方やよさについて考えられるような工夫がされている。</li> <li>○いじめ防止の観点からは、「いじめを生まない心」を主眼に、いじめ防止に主体的に関わる態度を育てる教材が配置される等工夫されている。</li> </ul>	
	<p>〈発達段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「いじめ」「命」の重点主題は複数時間で構成され、学年に合わせた「独自主題」も設定される等深く考える工夫がされている。</li> <li>○発達段階に応じて学年ごとの教材の文章量に配慮し、教材の内容がわかりやすく、かつ考える時間を十分に確保できるよう工夫されている。</li> </ul>	
	<p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コラム「みんなでやってみよう！」を全学年に配置し、体験的な活動を提示することで、よりよい人間関係の構築に必要なコミュニケーションスキルを高めるための工夫がされている。</li> <li>○巻頭のオリエンテーションで、話し合い活動についての方法が丁寧に掲載されている。また、「道徳ノート」の例も提示されており、適切に書くことで、理解を深めたり整理したりできるよう工夫されている。</li> </ul>	
	<p>資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○アニメや漫画教材、写真やイラストが見やすく、児童の興味・関心や思考が深まるようなレイアウトが工夫されている。</li> <li>○児童にとって馴染みのない言葉やわかりづらい言葉については脚注で説明されているが、それらが思考の妨げにならないように工夫されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前年度までの漢字を使用し、3年生までは全ての漢字に、4年生からは当該学年以上の漢字にふりがなが振られている。2年生までは分かち書きの表記と工夫されている。</li> <li>○デジタルコンテンツを活用すると効果的な教材には、インタビュー動画や教材に関連する動画、写真が見られる二次元コードが付加される等工夫されている。</li> </ul>	
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読み物教材をはじめとした付録が充実しており、学びを手厚く支えている。また、QRコードを読み込んだ先のコンテンツも工夫されている。</li> <li>○「見つける」「考える」「広げる」という三要素で構成され、児童の豊かな心が育まれるよう、また自ら進んで考えたいくなるような教材として工夫されている。</li> </ul>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【道徳】

書名 項目	新版 みんなの道徳		224
			学 研
内容	<p>〈道徳科の目標に関わる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年で自己肯定感や心の弱さと向き合うことについて触れ、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解などを自分との関わりで深く考えることができる教材や特設ページが工夫されている。</li> <li>○「いのち」を最重点とし「生命の尊さ」をどの学年にも3教材配置されている。また、「いのちユニット」では多面的・多角的に命に向き合えるようになっており、それを土台にいじめ防止へつなげる工夫がされている。</li> <li>○教材末に配置されている「考えよう」に、児童が自己を見つめて考えるきっかけとなる、よく吟味された問いの配置が工夫されている。</li> </ul>		
	<p>〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現代的課題に意識を向け、自分事として課題に向き合うためのマークが教材名と共に示されている。巻頭の「つながる私、広がる私」で、道徳の学びと現代的課題、SDGsとの関連が見開きでわかりやすくまとめられている等工夫されている。</li> <li>○全学年を通じて、情報モラルを系統的に学べるよう教材が配置され、今を生きる人や先人の生き方から学べる教材を多く掲載することで、児童の興味や関心を引きつけられるように工夫されている。</li> </ul>		
	<p>〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年巻頭に「つながる私 広がる私」、巻末に「つなげよう 広げよう」を設け、児童が自身の成長を振り返り、課題や目標を見付けることができるように工夫されている。</li> <li>○学年ごとに児童の発達の特質応じたテーマを設け、複数教材によるユニット学習を提案するなど、考えを深められるように工夫されている。</li> </ul>		
	<p>〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「深めよう」や特設ページ「心のパスポート」など、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習に合った教材を随所に取り入れる等、多面的・多角的に学んで道徳的価値を追求できるように工夫されている。</li> <li>○話合いや記述などの言語活動を、教材の随所に積極的に取り入れるように工夫されている。</li> </ul>		
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教材中の印象的な言葉などがキーフレーズとしてタイトル下に掲載されていることで、児童の教材への関心が高まるような工夫がされている。</li> <li>○人権に配慮した挿絵が使用され、図や表、写真の配置が視覚的に捉えやすいよう、本文との関係性が工夫されている。</li> </ul>		
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当該学年で学習する漢字や固有名詞にもふりがながつけられており、漢字の学習状況に関わらず、読み進めることができるよう工夫されている。</li> <li>○UDフォント、CUDを使用するなど発達段階に応じて文字の大きさ、書体や行間の配慮が見られる。また、二次元コードにより、関連するデジタルコンテンツにアクセスできるように工夫されている。</li> </ul>		
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最重点テーマである「いのちの教育」を中心に構成され、年間を通して「いじめ防止」に関連する教材を配置するよう工夫されている。</li> <li>○主題名を巻末に提示することで、特定の価値観を押し付けることなく、児童が主体的に学びを深められるよう工夫されている。</li> </ul>		